京城日報
二十日夕刊
(朝夕刊併せて八頁)

○獨社會黨の決議

獨逸社會黨は宰相ミハエリス博士辭職せざれば百億馬克の戰費を否決すべしと決議せり（倫敦電報）

○獨水兵謀叛行爲

オスタンドルに於ける獨逸水兵は前週中謀叛行動に出で潜航艇乘組を拒みて一將校を海中に投じたるが命令背反者三十名は捕縛され手錠を箝められたるまゝブルージュに送られたり（倫敦電報）

○ヒ元帥エ島へ急行

獨逸參謀總長ヒンデンブルグ元帥は新占領地たるエーゼル島へ急行せり（倫敦電報）

○米驅逐艦の損傷

十六日米國驅逐艦一隻潜航艇網區域にて敵艇の發射を受け死者一名負傷者五名を出し破壞艇は某に到着せり（倫敦電報）

○北京政府の作戰

北京政府は唐繼堯氏に對し四川へ出動の理由を詰問し兩三日中に回答せざれば討伐すべしと告せり北京陸軍當局の作戰計畫に依れば湖南方面にては守勢を執りて前進せず先づ四川雲南へ全力を注ぐべし但し段總理は唐氏の態度次第にて何時にても妥協を爲すべしと（北京特電）

○北京外交團會議

北京外交團は目下戰亂狀態に在る四川省在住外國人の生命財産保護に關し近々公使會議を開くべく右は同省に多數の宣教師を有する英國の提議にて關係各國は其趣旨に贊成せり（北京特電）

○西南問題と督軍

段總理は各省督軍に對し西南各省問題に關する意見を徴したるに張敬堯氏、張懷芝氏其他二三の督軍は西南問題の解決は一日も早きを要するを以て此際躊躇すべからず若し遷延決せざれば支那は永久に化を得ざるべしと云へり（北京特電）

○日本軍隊撤退抗議打電

孟吉林督軍は北京政府に對し外蒙に在る日本軍隊は永久に駐屯すべき準備を爲しつゝあり速かに抗議せよと打電せり（北京特電）

○王世子御誕辰祝宴

二十日は李世子殿下御誕辰日に就き世子殿下には午前十時鳥居坂御用邸に於て李王殿下より御使として差遣はされたる國分李王職次官及び李贊侍の御祝賀並に御祝品種々御受納あり午後一時二十分官を隨へ正裝にて參內天皇皇后兩陛下に御對顏兩陛下より御祝品として交魚一折、清酒一樽を御下賜あり殿下には御邸の侍從等に餐を給はりたり尚殿下には六時より御內宴を催させられ二十一日習志野の演習地に向はせらるべし（東京特電）

○中村都督參內

中村關東都督は二十日午前十一時參內天皇陛下に拜謁仰付けられ天機奉伺の後職務上の奏上を爲し御下問に奉答し終りて皇后陛下の御機嫌を奉伺し退出したるが都督は滿洲產鷄、熊岳城產の梨、山東產の栗並に水煙草等を獻上せり（東京特電）

○滿洲領事會議

目下奉天に於て開會中なる南滿洲在勤日本領事會議は二十日終了の筈なり（奉天特電）

○前露銀行總裁

前露國帝國銀行總裁アーコンミン氏は資本金一千萬圓の日露銀行設立に就き東上に關する用務を帶び二十日敦賀に上陸東上せり（敦賀電報）

○毛斯綸市場解合

毛斯綸暴落に依る斯界の打擊甚だしく十九日東西兩市場の大解合ひを決行せり（大阪特電）

○鳥居龍藏氏北行

東京帝國大學講師鳥居龍藏氏は總督府古蹟調査嘱託として慶尚南北道に於ける有史以前の古蹟調査の爲め二十日朝著釜午前十時三十分釜山驛發列車にて京城に向へり（釜山電）

○朝倉滿鐵課長

滿鐵鑛業部販賣課長朝倉鐵次郎氏は二十日朝著釜午前十時三十分發列車にて北行せり（釜山特電）

○赤星牧場視察

政務總監以下三十餘名

山縣政務總監、宇佐美內務部長官、小原農商工部長官、鈴木度支部長官、荻田總務局長以下總督府各局課長其他朝鮮銀行、東拓、李王職等の有志三十餘名は二十一日午前八時南大門驛發列車にて成歡に赴き東洋一の模範牧場と稱せらるゝ赤星牧場を視察の筈なるが一行は同日午後七時二十分南大門驛着列車にて歸還す可し

○內地行連帶貨物輸送力

安藤營業課長談

貨物の連絡輸送其他の要務を帶び鐵道院、名古屋中部管理局に出張中なりし安藤滿鐵營業課長の歸來談に曰く予は朝鮮線から連帶貨物の輸送に就て

△院線輸送力 增加を鐵道院當局に強硬に希望せしも何分院線の貨物の出廻りは既に輸送し得る最大限たる五百五十噸を超ゆる事は不可能なり尤も鐵道院側も成るべく鮮滿輸出貨物の東行貨物の増大すべく山陽線の十一號に依る配給方法改善機關車の增加等の手段を執りつゝあるに付是等の施設が適當に完成せば五百五十噸に更に五十噸を加へ一日六百噸となるべしと思はるゝも要するに其の所の增加は僅々五十噸に過ぎず乃ち事情斯くの如きに付

△鮮鐵沿線の荷主 は內地行き貨物の鐵道連帶輸送に重きを置かず釜山若くば群山、浦等の開港地に汽車送りをなし各港地より汽船をキャッチし其の貨物の積送をなすの方法に出でられんことを希望せざるを得ず唯成るべく內鮮連帶貨物の釜山滯貨を少なからしむる必要上強硬に鐵道院に要求しむる筈なりし貨物專用船御嶽丸は十一月一日より關釜間に就航せしむる事とし又第三共榮丸を內地行の朝鮮滯貨輸送に努め得るやう運びつけ來れり序でに如何に鐵道院が貨物の輸送に配慮し居るやと云ふに現に鐵道院所要石炭の數十萬噸は風に船舶にて九州より[illegible]方面へ輸送しつゝあるが昨今の如く

△海運賃暴騰 しては鐵道院其の經費の增嵩に困色あり其の船舶輸送の一部を鐵道輸送に變更せんとの計畫[illegible]しある事實の生ぜば朝鮮滿洲發連帶貨物の如きは一噸をも輸送し得ざる事となるを以て目下の所鐵道院も鮮滿貨物輸送のため多大の不利を忍び石炭輸送を控へ居る次第なり

◎獨逸の政情不穩

海軍陰謀問題と宰相不信任の氣分

不穩なる獨逸の政情に付きベルリン特派員電に依れば獨逸議會に於ける海軍陰謀問題の發表並に宰相[illegible]獨立社會黨[illegible]し外務大臣キュールマンを其の後任とせしとの希望あり

△議會の潮昂 を來し政界の狀況不穩となり議會は十月十一日と定めたる開會期を十二月に延期し次の開會期を十二月[illegible]日と定めたるも政府反對の暗流は[illegible]民黨の開會を擱へ[illegible]和なる攻擊し居れり其の[illegible]海軍陰謀問題に[illegible]特別委員[illegible]され檢事總長も列席[illegible]獨立社會黨員三名の結果其の行爲は罪を構成せずと決定し居りし何等處置せざる事に決定し居りしに拘はらず祖國黨擁助に關する

△民黨攻擊 の鋒先を鈍らしむるため此の問題を議會に發表し世界の注目を惹くに至れるは政府の失態の上もなくミハエリス氏の幸相の資格なしと云ふにあり[illegible]到底幸相辭表を出せりとの流説さへ傳へられ日下皇帝はブルガリアへ幸行中なるを以て其の歸鄕後何等か

△政府に變動 あらんと期待せらる。全獨派ミハエリスを倒[illegible]

◎道府郡參事會

京畿道にては管內に於ける面制及び水利組合事業、産業獎勵、地方財務、教育、宗教其他一般地方行政に關する事項を諮問事項として各府郡參事の答申を求め併せて之が協議を爲すべく來る二十五日及び二十六日の兩日午前九時より午後四時迄同廳會議室に於て道長官主裁の下に道府郡參事會を開催すべく出席者は道府郡參事通じて四十七名の外關係職員の列席あるべく其の日程左の如し

▲第一日長官訓示並各參事答申
▲第二日各參事答申並同意見

◎青島鮮銀開期

二十二日に延期す

青島の鮮銀支店は二十日より開店の筈なりしも手續の關係上其の開店を遲れ二十二日より營業を開始する事となれる[illegible]

◎穀物貿易商大會

二十日大阪にて開催されたる朝鮮穀物者聯合大會に於て決議せし如く從來朝鮮の穀物取扱上意見を異にせる點あり取引上[illegible]

大阪財界の問題

阪の綿糸布界は一時大成金を續出したるが其の後の暴落にて元に逆りたるもの多く綿ネル問屋として知られし南爲太郎氏の如きは五萬の損失を荐にして落寺に投身漁夫に救はれたるなど悲劇を演じをれるが

△昨今に於ては 某商人の窮狀甚だしく四銘問題の不始末を一原因として十三日の如きは一値に暴落したれば一層窮境に陷りしものあり又織物商として知られし淡路町の山口嘉蔵氏の如き其の一人にして同店、四銘十六手內地向綿絲三銘柄布毛斯綸、綿ネル、メリヤス、ネル生地製靴等にて損失を招き其の額約八百萬圓に上れるが

△落後窮狀に ある甚は昨今に至り同店も破産したりとの噂さへ傳へらるゝに至れり併し同店の綿絲布從來は斯界周知の事なれば之に依りて左したる影響なかる可く或は同氏の背後には富豪にして親戚たる山口玄洞氏の控ゆるあれば何とか片付がつくべしと樂觀し或は千かる面白き損失なるに昨今の市況にては挽回覺束なしと悲觀するものありかゝる次第なれば仲間は全然恐怖狀態にあり山口商店は如何にして整理すべきかに見ものなり洵に銘柄委員會の際にも口氏に對しては危惧を抱き居りしとなる由なるも

△何分にも損失 が大なる丈手の出し手なく今日に及べり尤

◎日支重要案討議

支那政府外交部は近く奉天督軍の派遣を[illegible]に就き奉天に於て東三省交涉委員全部を集め北京政府外交部の要[illegible]日本の侮事に對する重要事項に就き討議すべし（奉天特電）

◎平壤に於ける講演

長岡中將は十九日午後三時平壤著柳屋に投宿翌二十日午前十時より高等女學校に於て飛行に關する講演をなし午後一時より女子高等普通學校に於て同校及び普通學校生徒の爲めに又同夜午後七時より在鄕軍人會に於て官民有志に對し講演をなし二十一日夜は一般府民の爲めに通俗飛行講話をなす

◎軍司令官歸期

北京守備隊巡視並に機動演習觀覽のため出張中の松川司令官は一行は二十一日午後四時五十分漢口發列車にて歸城

◎古海總長臨場

古海總務局長は京畿道[illegible]二十日午後[illegible]府內秋季消防演習に臨場せり

◎長岡中將講演

十八日開會の飛行講演中獨逸の一將校に就き岡中將の飛行機の講話は多くの職員生徒に對し[illegible]居りたるも內に於て執行の答なり

◎判任見習試驗

既報の如く十九日午前より執行の判任官見習試驗は受驗者百三十四名中十二名合格者と[illegible]

◎文民間借款と形式

支那に對する兵器供給問題は[illegible]進行中なりしが北京政府と泰平組合との間に於ける如何なる形式にて其の代金を支拂ふかに在り若し借款の形式を以てするときは四國團の承認を得る必要あり故に其の保證の下に日本民間より借入れを爲す方法を執るべしと傳へらるゝも北京政府と小銃七八萬挺、大砲一千餘門、機關銃其他若干の金額は二千萬圓位なるが目下北京政府のみに限らず各省督軍等よりも直接の申込みたるものも含みをれり（北京特電）

◎總督府にて

は大阪方面當業者の要求により農商工部事務官中野次郎氏を同會に參列せしむる事となり尙鐵道局より田中事務官出發せしむる筈なりしも不明なり

◎釜山長手線著手

朝鮮瓦斯電氣會社の經營に係る釜山市街電車長手線の工事に就き敷設工事は既に本年中に竣工せしむべく[illegible]

△種々の障碍

を惹起せる例年からざるを以て之が改善統一を圖る目的にて協議會開催の事を大阪方に交渉中の所大阪に於ける當業者の中心機關たる大阪朝鮮貿易商同業組合に於て之を快諾し二十日朝鮮側派遣の委員と協議會を開く事となり朝鮮よりは京城の高野三井物産支店長、奧田仁川商業會議所會頭を始め各地代表者數名前後して上阪の途に就きたるが

◎岡本參謀長歸任

平壤在勤中の岡本參謀長は旅團秋季演習視察の爲め出張中なりし同本第十九師團參謀長は十九日歸任したり

◎美濃部總裁出發

鮮銀總裁美濃部俊吉氏は要用を帶び豫報の如く二十日午後七時五十分南大門驛發列車にて夫人令嬢並に會計秘書役同伴東上の事となりたるが其の歸期は未定なり

◎阿部鮮銀局長歸京

大阪の鮮銀滿洲支店長會議に列席せし同行營業局長阿部秀太郎氏は二十日午後七時三十分南大門驛著列車にて歸京直ちに東上の途に就きたるが美濃部總裁に會議の要點其他を報告せり

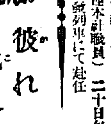
◎大田理事青島行

駐在鮮銀理事大田三郎氏は十九日大連出帆の便船にて青島に向へるが支店開業に關する要務を辦ずるためなりと

◎岡氏追悼會

京城覺鑑寺、舊故岡氏[illegible]社中務取締役故岡[illegible]

有田經理部長、衛職官朝鮮軍經理部長有田寬二郎氏は今回都合により辭職し東京に歸れり



彼れ此れ

○他の長を採て、我短を補ふは個人に於ても必要事なるが、國家に於ても亦然り。獨逸は敵たるが故に、惡むべきも、其の長所は、採て以て、我短所を補ふべきは、決して怠るべからざる也。

○忌憚なく云へば、獨逸の長所として、吾等の學ぶべき點は、却て少に非ず。道は恐らく、吾等と觀を同ふする人の、等しく同一なるべきを信ず。然ども吾等は、先づ其の最も手近かくして、其の問題に同じく我國に於て、厄介となりつゝある者より、事を希望する者也。傚せせ活動寫眞の如きも、獨逸は好手本を吾等に示せり。

○獨逸に於ける、最近の活動寫眞は、全部官營とし、興行用のフヰルムは、一切帝國フヰルム局にて製造せらる。而して最初の作物の如き、植民と題し、戰後に於ても、飽迄植民發展の方針を取り、英國に對しては、飽迄敵對の態度を取る事を、興味と趣味の間にも、晾かに國民に豫知せしめ、其の方針に、悖らざらしめんとす。斯くてこそ始めて、活動寫眞の有價の大なるを知るべし。

「也先軒小集次疎梅翁伯詩韻」　無名氏
軒窗如是好相逢。半壁青燈話夜鐘。曳屐神何所似。一筇穿踏幽山松。

◎辭令

十九日附を以て左の通り辭令ありたり

參事官　大塚常三郎
事務官兼參事官　時永浦三
朝鮮總督府土地調査委員會委員被仰付（各通）

◎京畿職員運動會

京畿道にては二十一日午前九時半より西小門倶樂部に於て道廳職員一同を以て秋季運動會開催の事に確定せるが各種競技餘興等を演ずべしと

人事

▲中村房五郎氏（中村組）▲中村精七郎氏（同上）二十日午前入京天眞樓へ
▲吉田榮三郎氏（總督府事務官）二十日午前內地へ
▲佐野武市氏（東亞煙草株式會社常務取締役）
▲堀田正一氏（同重役）十九日午後內地へ
▲松下康誠氏（埼玉縣技師）十九日午後入京巴城館へ
▲辻進氏（東京辯護士）十九日午後入京不知火へ
▲故田憲（總督府技師）十九日附京畿道、黃海道、平安道、江原道及咸鏡道へ出張を命ぜらる
▲森太郎氏（平壤土木出張所技師）同日附平安北道、黃海道、義州へ同上
▲横井賀郎氏（滿鐵仁川支社職員）二十日午前九時二十分龍山驛發列車にて赴任

△主張する趣旨

は現時三品取引所にて標準品種とされる四銘十六手の我國一箇月の産額は一萬五千俵に過ぎざるに今回成金等の大損失を釀せし先物取引にては之が一日にすら五六萬俵賣買せらるゝ事あり一箇月分を積算すれば莫大の數量にて到底現品の受渡をなす事能はず是れ一種の賭博類似の行爲なりとせる取引にては其の

△取引の複雜

となりし關係よりブローカーに依託し手形一枚にて裏書に裏書を重ね最初の賣主と最後の買主とが決済するなど誰かに取引所法違反なりといふに至るに於ては支拂拒絶の理由も出で而して檢事局が自首を起訴するに非ず、之が處分は僅に過怠金五十圓以下なれば誰かを犧牲者として此の非常手段に出でんかとの窮策をめぐらしつゝあるものあり若し事實となれば財界の

△重大問題なり

兎に角一時繁華の夢を見たる大阪金巾大窮狀にあるもの見も憫れなり（大阪支局）

▲廣告▼

至急謹告
米國金地出禁止令發表以來豪く原料の調製延期候に付御注文の御相談に依り迅速御入用の向は可成早目に御申越被下度帝上候
仁川　糸岐商店
電話三七〇番　振替京城七二番

萬年筆
スワロウ印
八円迄　一円五十錢より
製造元　日本萬年筆製作所
朝鮮特約發賣元　新井文房具部

下落の織物
〇第二回冬物昨今ぞし〳〵
着荷しつゝあり
友仙もすり一反
大巾一尺參拾五錢より
龍山元町電四二八番
植西呉服店

吸入瓦斯機
中古五馬力より十五馬力まで各種在庫
モートル
精米機
割引特價販賣（定價表進呈）
佐賀唐人町
丸三商會

汽機汽罐賣却
一、汽罐（徑三呎六吋十五呎）壹臺
一、汽罐（徑三呎水管型二百封度）壹臺
コーニッシュ型 ランカシャー型 長十二呎
一、汽機　壹臺
一、石油發動機　五馬力　壹臺
一、煙筒　長六十呎　壹臺
右の品賣却仕り候に付御入用の御方は御一報被下度此段廣告候也
本町　岩田留楠商店

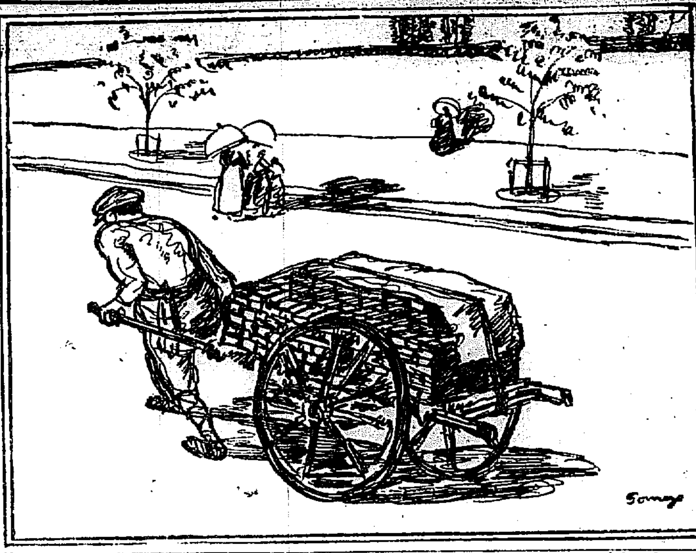
露國は滅亡するや否や
大露國は滅亡せず!!然し紙幣公價の五分の一

備考
今戸號
[illegible]

マッチ（燐寸）は
ハネシカ
ハネシカに限る
最經濟的品質保證の
京城本町
電話三五〇番
森久本店

[illegible]

◆この頃　煉炭運び



◉満山の紅葉―秋の金剛山―
探勝して歸った　高田老師の談

若草町曹洞宗別院高田老師は此程孤筇飄然金剛山を跋跡して歸っての談に曰く金剛山は一名楓嶽と云ふ名稱がある丈け紅葉に於ては恐らく内地にも彼んな雄大な佳景は無からうと思ふ。満山今や秋闌にして到る所

◆黄葉楓林の景趣◆

に富み、衲は話以上に金剛山の絶佳なる事を知った。衲は元山と長箭に各一泊して温井里に著いたのが夕刻であった。此處の温泉は中々好いから衲は一人旅の事ではあるし、別に急がぬ旅程であるから其晩は緩り湯に入って寝た、朝起きて又た湯に入り夫れから九龍淵に行って、思ふがまゝに見物して温井里に歸ったのが恰度夕方であった

◆翌日は萬物相行◆

で一日暮らして温井里へ歸った所が矢張り到頭夕方になった、そこで夕飯を食べて長箭へ歸り翌日は更に楡岾寺を訪ふて有名な五十三佛を觀、それより長淵へ行ったが此間は困難な道で乗物の便もない尤も衲は何處でも一切歩くと云ふ主義であるから格別苦にもならなかったが、楡岾寺と長箭の間は九里あって其の日歸りには離かしいので此處で一泊したが此寺の

◆住持は中々學者◆

であって漢文も確かな者であるから筆談なした所が中々話せる和尚であった。何を云ふにも通譯はなし一切筆談で話を片付けるのだから随分困った事は困ったが、面白い事も面白かった、其れに途中飲食店は愚か食物を賣ってゐる店抔が絶無であるから金剛山に行く人は須らく食物其他を前から用意する必要がある。衲は實の所今（十九日午後六時）曹洞宗別院の婦人會員二十三名と一所に漢江から

◆舟で奉恩寺へ◆

野遊會に行って歸た所であるが、來年の秋は婦人會員の遠足野遊會を金剛山で行らうかとも思ってゐる……尤も足弱の婦人方に歩けまいと云ふ懸念もあらうが、其れは何んでもない……九里もある擔

古寺なんかを旅程から除けば、後は温井里より十餘町の神溪寺だとか、玉流洞、九龍淵等で又た萬物相といふも約三里許りの所だから女の足でも大丈夫だと思ふ。

◉洗堰紛擾　農民殺氣立つ

江州琵琶湖沿岸の住民は洗堰の梁を取拂ふべく主張し十九日夜數百名立ちたる農民千餘名大津に集合したるが一方大阪府下にては若し右の主張容れらるゝに於ては淀川沿岸の水害地は一層災害を増すことゝ成るべしとて現在以上梁を立拂はざる樣に務省土木局大阪出張所に陳情する處あり同所は板挾の體なるが小橋土木局長近藤内務技師は廿日來阪の上出張所長青木工學博士と應急善後協議の筈なり（大阪特電）

◉山口商店　整理行惱む
財界不安に襲はる

綿絲大成金山口嘉三商店整理問題は同店と整理委員との間に意見一致せず委員は整理を拒絶せしより萬一破綻せば綿絲界復興途に大損害を受くる者多く財界は不安の念に襲はれ居れり（大阪特電）

◉社交上の必要から　下手な踊を習った　故岡正矣氏の半面

故岡正矣氏の在鮮時代は併合前統監府鐵道管理局運輸部に時代であった、當時の同局關係者にして現内國通運會社取締役に京城同支店長たる村瀬鎌治郎氏は語る　何しろ惜しい人が亡くなったのは残念である。氏は非常な精力主義の人で朝早く起きて夜は遅く寝るに拘はらず、統監府時代には病氣といふものをした事がなかった。氏の全盛時代は、そんな風に睡眠を取る時間も少なく殊に御承知の通りた交際家で如何なる送迎又は宴會と雖も必ず氏の顔を見ない事は殆んど無かったが、氏はこんな忙しい體なるに拘はらず、手紙は

◆上下の別なく　必ず自身で認めて返事を出すのが例であった　それは朝五時か六時に起きて手紙を認め、それから朝飯を食して役所へ出ても、一分間たりとも時間を無駄にせなかった。さうして部下の事と云へば病氣に罹った者があれば自身で其處へ見舞に行く、其の家族が病氣をしても見舞に行ったものである其れのみならず、部下の

◉借金の始末まで務めて遣った程の苦勞人であった。氏の趣味は書畫骨董抔は眼中になかった樣だが、今日社交上に必要な事に研究し、實習の取持抔の事は深く極めて不器用な踊も習ったし、調子ッ外れの唄も稽古した樣である。併し何方かと云へば氏は上役よりも部下の方に氣受が好かったものである

◉功績は莫大なるもので亂雜と云はんより寧ろ紊亂してゐた京釜鐵道を引繼いで鋭意之れが改善に努め、現行の保稅倉庫制度や發著手數料制度其他種々の施設制度を今に殘してゐる。殊に面白いのは氏は出張の時に一切隨行員を伴れず作業局の貨物掛長時代に

◉一人旅行で　歐洲へ行ったが是も日用の會話は手帳に控へて行ったが、歸った時には英語を不自由なく話せる樣になった。之を要するに氏の全盛時代の精力主義は迚も凡人の企及し得べからざるものがあった

◆人か猿か　不思議な畸形兒

此の程大邱地方法院分院で漆原郡内の戸口調査中誰が目にも猿ではないかと疑はるゝ人の子を發見した、此の子は同郡漆原面洞八十二番地方台〇の四男で點道と呼び當年とって六歳になるが、兩親は恥しさのあまり秘して居たと見え未だ戸籍面にも居なかった。元來身體の構へは人間らしい事の出來て居ながら、股間の一部と兩頰を除くの外一面に獸のやうな毛を生じ眼をキョトキョト光らせて居るあたりは猿然たる樣を見るが如く又言葉も碌に語れず斯う不思議に見苦しく生れついたのも母が懷胎中に獸の肉を食べたからだと云ふ [illegible]

◉忠北平野の　拂曉戰
▼兩軍一進一退す

前夜新潭里粉洞一番の高地を占領したるまゝに夜を徹したる北軍は夜の間に於て充分の策動をなし攻撃準備を整へたる上十八日午前五時早くも行動を開始し同三十分頃既に彼我の銃火は交へられたり、見渡す野山には

▲陣營の篝火　尚ほ未だ消えずして拂曉の秋天に輝き明滅す、其光景悽愴なり、兩軍は爽快の冷氣を事ともせず猛烈なる砲火を交へて激戰す此日長谷川總督は午前六時宿舍なる長官を邸を出で自ら北方高地に登り此の拂曉の激戰を御覽ありて歸られたり、かくして北軍は五時四十分頃主力を米坪里北方

▲十字火を浴せつゝ全線一時に攻撃を開始し躍進を續け同六時過ぐる十分頃激烈なる突撃に移り南軍亦盛んに防戰に努めたが此時南軍には前日來鳥院方面より援せる有力なる一部隊到著したるより北軍の攻撃突進を遂に利あらず同六時二十分

▲一時休戰を命ぜられたる儘地の下に休憩し新たなる命令を待つ事となる此間兩軍將校は長谷川總督の觀戰地たる丘上に集合統監の講評を受け午前九時更に行動を起したるが北軍は一時退却の餘儀なきに到り南軍は急なる追撃に移りたり北軍は遠く曾坪北方に退却し此處に於て地物を利用して九日早朝到著すべき增援隊の到著を待ちて再び攻勢に出でんとするものゝ如し此時南軍は曾坪南方約二千米突なる玉山一帶の高地に到著し此處に

▲他列を敷き　敵陣の攻撃を試みたるが北軍は鎭川頭陀山の連脉尼聖山の輪に據りたるの形勢あり日亦漸く西山に春かんとする頃より遂に同地より曾坪附近に露營し夜を以て敵情搜索を終へ十九日未明を以て攻撃を開始すべき豫定なるが如し

▼壯烈なる白兵戰
北軍地の利を扼して猛烈に攻撃

前夜曾坪附近に露營の夢を結びたる南軍の精兵は十九日午前三時半早くも陣地を出發し拂曉を以て北軍を夢の中に殲滅せんとし道を尼聖山の右方忠州本街道に沿ひ華城里附近に於て遙に川上流河岸を一列縱隊にて前進中北軍の敵情に判明せず闇を辿りて敵情を探り

▲斥候の姿を見て近く敵の在るを推定するの外なしかも程に東天漸く白く四方の光景漸く展望し得らるゝ午前六時ともなれば北軍は第二大隊を第一線右翼に第三大隊を同左翼とし第一大隊及び假設大隊を豫備隊として陣形を造り鎭岩里より天光里東方に迂廻し敵を西正面に向け前進したり。然るに前夜

▲尼聖山々北に匿れたる北軍は遠く天光里（曾坪東北二里）附近迄退却し此處に於て援軍の到著を待ち十九日未明南軍の來襲を期し曾坪北方に步兵陣地を設け之を左翼とし尼聖山系の一高地に砲兵陣地を設けて南軍の到來を待ちつゝありたり

▲苦戰の情況に陷りたれば北軍は機を逸すべからず直ちに突撃を開始し午前七時半漸く白兵戰は白馬山麓に於て開始せられ北軍は砲兵の掩護機關銃の猛射に援けられ盛んに敵散兵戰を襲撃し南軍の漸く動搖せんとする時休戰命令は下れり此日

▲金久保統監は午前四時曾坪の宿舍を發し戰線に出て南軍の左翼の福路たる天光里に向ひ七時半休戰後同地南方の高地に於て南軍の講評をなし終って同時より更に十九日の戰鬪に假設敵攻擊戰を開始せしめたり（山特派員）

（第一第二第二（？）名（村川重吉、成島信愛、師平吉）[illegible]

◉南部太夫危篤
文樂座の重鎭たる南部太夫は [illegible] 再發し目下重態に陥れり（大阪特電）

◉行路病人收容所
▲南坡病院跡の改築

城府内に於ける行路病人收容所は先般佛教慈濟會に於て府より南坡病院跡を收容所として引受け [illegible] 爾來同所には精神病 [illegible]

◉沈沒露艦發見　對州沖で

長崎縣北松浦郡平戸町木山喜六郎は對州西泊岬沖合に於て日露戰爭中沈沒したる露國軍艦ウラジミルモノマフを發見したりと（長崎特電）

◉綿糸布成金の　番頭收監さる

名古屋の綿絲布成金近藤商店の番頭某は十九日收監されたり [illegible]

◉明石城址を公園に

明石城址を [illegible] 明石公園とし [illegible]

◉卅年間一日に僅に一食
二十七日間斷食して博士を驚した老人

釜山滿鐵道宿舍内寺の正明氏は印度の昔の僧侶は一粟一米に依って長壽を保ち仙人は霞を吸ふて活きたと言ふに傚ふて三十年間減食法と深呼吸法とに依って健康を保って來た

◆其の生活法を聞くに同人は元宮崎の者にて入って御料林の測量手となり深山幽谷を跋渉する事久しかったが或る處あって二十五歳の時から一日二食にし其後更に一日一食に縮減し深呼吸を [illegible]

◆健康を持續して來た [illegible] 不眠不休で三日四日打通しても綺麗に認め深呼吸をする [illegible] 東京の帝大で斷食試驗をした時の如き [illegible] 同人は二十七日間水一滴も飲まずに活きた [illegible] 研究中の博士連の舌を捲かしめたとの事である

◉白川組事件の其後

白川組の破綻一件に就ては京城の岡田朝倉兩辯護士主として善後策を講じつゝあれど近頃更らに荒井組主荒井初太郎氏仲介の勞を執る事となり同氏は去る八日大田に來り九日は現場に就き殘存材料等の調査をなし十日は大田地方の債權者と會見し意見の交換を爲したるが白川組の荒井氏を訪ひ同地方の債權者代は十日午後本町千歳旅館に滯在中なる荒井氏を訪ひ同地方の債權者及び票所有者の窮狀を開陳し成るべく至急圓滿の解決を希望する旨陳情する處ありたりと（大田）

金牌受領　本椿ポマード　婦女頭髮用（チック及び香油時代遅れ）　本椿香油　本舖　大阪西横堀　三宅堂

◉直通列車延著

二十日朝釜山著の鮮滿直通列車は二時間延著し關釜連絡船と連絡せざりき（山特電）

◉凌雲唱哉兩謡會

京城小原新三氏外數氏の發起にて來る二十一日午後一時より南山東本願寺に於て松永凌雲、田中唱哉兩氏の謡曲を催す由なるが凌雲氏は京都竹内楓湖、藤倉に師事して花鳥山水に妙を得唱哉氏は松本楓湖、藤伯に師事して名あり作品は絹本尺五寸一幅を十三圓にて同好者に配分する由

◉野球試合

二十一日午前十時より城東訓練院グラウンドに於て龍山鐵道俱樂部野球部對京城俱樂部野球部の試合あり

◉家畜と頃

▲今年の祭りに御用に供する牛は東亞牧場主の肥塚獸醫が春頃から註を受けて選定に多くの時日を費したものださうだが遂ひに澁浦で發見した赤毛の雄牛で壯年の三頭を選定し往十里から六七八歳の三頭（▲身幹は四尺八寸八分から四尺九寸三分まで身長は何れも五尺二寸五分とよく揃ったもので揃んな立派な牛は京城附近は素より朝鮮附近にも尠ないとは肥塚君の自慢話▲十八日蓬萊町三丁目十三番地附近の小路を修繕してゐたが路面を掘返したまゝ狹い道路の片側に土を盛り上げて通行の出來る幅は一尺足らずにした上に夜に入っても燈火一つ點けなかった爲泥土の中に足を踏込だり溝の中に落ちかゝった者も大分あったさうだ

讀者文藝　課題及募集規定

□募集規程　▲用紙は端書又は同形の用紙一枚毎に紙上の雅號又は匿名の外に住所氏名明記の事 [illegible]

天氣　晴れ一曇り　（二十一日午後六時迄）

仁川　十二月二十一日　[illegible]

商況

債券現物特電（二十日川東京） [illegible]

東京公債直取引 [illegible]

深川正米特電 [illegible]

東京期米特電 [illegible]

大阪株式特電 [illegible]

大阪三品特電 [illegible]

大阪期米特電 [illegible]

雜報

◉綿糸布底堅し　大阪三品は昨後場下押しの反動にて [illegible] 米棉五十錢三百二十五圓九十五錢と騰り綿布龍レ七圓九十二錢 [illegible]

◉諸株跳返す [illegible] 先物 [illegible]

諸株一齊に引返し步調 [illegible]

◉鐵材更に軟弱 [illegible] 下押し更に幾分 [illegible]

◉製粉は更に不況 [illegible]

下關相場
[illegible]

仁川期米
廿日前場（軟弱）大阪天候 [illegible] 大阪五節八十錢 六節八十 錢小安き入電に二錢 [illegible]

仁川米豆取引所
二十日の十二月限 [illegible]

小賣白米　白米標準値　二十四圓三十錢 [illegible]

市場零聞

◉保合頭重し [illegible]

◉洋釘は漸落 [illegible] 一般に賣逃げを急ぐ [illegible]

◉亞鉛板小弛む　約七圓方低落せり [illegible]

◉大豆氣弛む [illegible] 鉄力板も又二圓方引下げたり [illegible]

◉糯田薄強硬 [illegible] 十圓迄下押し [illegible] 持合ひつゝあり

◉内地糠の現狀 [illegible]

京城正米
▲朝鮮一等白米（當用）廿五圓廿錢 [illegible]

南大門の廻穀
[illegible] 新米並上にて十九圓五六十錢見當に [illegible]

釜山穀物（十八日）
[illegible]

生魚市場
[illegible]

◉米安人氣に買方手控 [illegible]

◉期米前途觀 [illegible] 或る程度迄槊 [illegible] 崩れ前途は必ず正米 [illegible]

仁川米豆取引所仲買人　大五仲買店　店主　豬飼政太郎

仁川米豆取引所仲買人　仝仲買店

仁川米豆取引所仲買人　三巴仲買店

[illegible]運搬船中八月末日其出張先き[illegible]亨栄月に於て藝妓金龍、駒吉、市松たる价川郡邑内里にて店主森本よりを揚げ十數日に渉りて豪遊の末全り前期の旅費及び荷作賃として部費消したること發覺し平壤署の[illegible]

[illegible]昨年十二月以來各所に於て約二千五百圓の大金を詐取したる事發覺し此程仁川署の手に逮捕されたるが取調の結果彼等は多くの徒黨を組[illegible]たりと（仁川）

◉聯絡船上陸客 十九日午前八時五十五分釜山入港新羅丸一二等客 [illegible]

關門間の隧道計畫

架橋は軍事上危險＝結局隧道說を採用＝既に設計も出來上つた

中村精七郎氏談

中村組社長中村精七郎氏は十六日内地より京城を經て來鎭十七日新義州に赴き十九日内地に向け出發する由なるが記者は偶然同氏と會見の機を得目下同氏の計畫中なる關門連絡計畫に就き聞き糺したるところ左の如し

自分は凡ての事業を一種の道樂としてゐるのである博多築港計畫の如きも其一例であるが彼事も最初世人は危險視し一時無謀の計畫の如く吹聽せられたるが今日に於ては何人も疑惑を抱かず且中傷する人も無くなつた當時兎角の批評を爲したる人が今日に於ては

◇一部權利の持主

であると云ふ樣になつたのは自分として誠に喜んでをる次第である又自分の主義としては口で云ふときは已に其事業に着手して居るので世人の勸ふすれば事業其物を一種の標本となすが如きは自分の取らぬところである博多築港の如きは已に捨石が水面に露出するまでになつてゐる然のみならず九州の工業はどうしても水に依らなければならぬ自分は已に此等工場に使用する河川の水利權をも獲得して居るので將來水と石炭と此等交通の便利とを得るに至らば必ずや内外資本主が、

◇先を爭つて出資

し自分の事業を助成するに至る可を信ず故に自分の會社にては工務調査部を設け此等諸般の設備に付調査研究中である調査部の顧問としては杉山茂丸君主宰者としては川上工學博士を囑托し部下に工學士三名を配屬してある自分が博多築港を計畫したるは全く我國が西南に向つて發展し將來の商圏は南洋を抱擁しなければならぬ此れが貿易港として門司神戸港に望を囑するのは甚だ心細い感を覺ゆるので特に博多築港の擧を企てたのである然るに博多港をして

◇我國對外發展港

たらしめんには軍事上且貿易上是非共本土と九州とを連結せしめなければならぬ而して此等の事業は國家的事業として爲さねばならぬと云ふことは已に世人の認識して居る所なるに不拘今日の處實現せらるべき形勢もなく且これが動機を與ふるものだにないのは自分の切に遺憾とする次第である、關門連絡設備は自分一人の力で行はんとするの考を持たぬ自分は自分の力の及ぶだけを盡し尚足らざるところは

◇内外出資者の力

に倚るも可なり自分は即ち事業遂成の動機を作るものと見て貰ひたいのである連絡機關の設計に就ては最初架橋を選ばんか隧道を選んかとの二說が出た廣江博士は架橋の適說を主張し田部博士は隧道說を主張したが結局隧道說を採り上工學博士專ら研究調査の結果此れが設計に從事し已に設計は出來たのである目下田部博士等の斡旋で鐵道院と材料の供給借受け等に付き交渉中であるが

◇工費は三千萬圓

を要する見込である無論隧道は線路を用ゐ最初複線とし將來必要に應じ線路を增加すべき計畫である筋に出願するつもりである又何故が近々其の調査を爲したる上其架橋說を取らなかつたかと云ふに架橋とすれば最初より車馬人道等定まり將來交通路の增設に不便を感ずるのみならず軍事上の危險をも感ずるの必要より出でたるものである云ふまでもなく此事業は政府事業でなければならぬのに自分がこれを主唱しこれを爲さんとするのは即ち爲すべき動機を作つたのである

◇日下北米の富豪

は有益なる事業に投資せんとの希望して居る歐洲戰爭に於て得た多額の金の使途に困つてゐる樣の次第なれば前申す通り自分の努力に於て行かず日本内地にて金の出途に困つたならば其等外人の資本に持つ考である要するに

◇此事業は自分の道樂

である此他にも種々の調査研究を爲しつゝある一は筑後川の水を北九州に引き來りて其地方の工業に資せんとするが如き現に東京理化學研究所の如きも自分の道樂であり此等道樂の爲めに毎月二十萬圓を費消する次第であるが行つて見ると忘るゝ能はざる趣味を覺ゆるのである（平壤）

◉商議員改選期 廿二日名簿調製

平壤商業會議所評議員の第一期總改選は十二月一日にて定款に依り來る二十一日は選擧權者名簿調製期日なれど日は恰も日曜日なれば翌二十二日現在會員を基礎とし同名簿を調製すべく選擧法は創立當時と同じく無階級單記制、評議員數は二十二名、内地人十六名鮮人八名にして會議所は昨今專ら準備中なり昨夏創立選擧の際の會員數は内鮮人を併算し三百四十名に達せざりしが爾來約一年半に於ける平壤商工業の急足なる發展は著しく會員の增多を來たし即ち會議所經費の第二期賦課徵收告知書を發したるもの十月十五日現在は内地人二百六十五名、鮮人百三十四名なるが名簿調製及び確定の結果として多少の異動を見るべきは勿論の事なれど兎に角前回の選擧當時に比し五十名以上の增加は蓋し疑ひなかるべく最も過日の評議員會の決議として遊廓側即ち貸座敷營業者を會員より除外したれば此結果十二三名の減少を來すべきは勿論なれば彼此相殺して結局四十餘名の增加なるべし

◉教員試驗終了

過日來より平壤女子高等普通學校に於て執行中なりし教員試驗は十七日を以て終了したるが志願者第一種二名なりしも受驗者一名第二種志願者十一人に對し受驗者八人第三種志願者五十八人に對し受驗者五十名なりき試驗の成績は近々發表せらるべしと

◉手工講習會終了

平壤手工講習會は二十日終了すべく同時に修業證書授與式を擧行さるゝ筈なるが講習會員たる公立普通學校長は來る二十一日の日曜を利用して鎭南浦を視察すべしと

情死した千代鶴 朝刊參照（十日）

◉洞民を捲く

慶南居昌郡加北面海坪里奧柳稻先（三二）は同面の共有に係る太利山の地所數町步の測量方を依頼されたるより惡心を起し明治四十五年中右百八十八町四反七畝七步（時價千八百圓）の地所を洞民より悉く買收したるが如き文券を僞造して地籍屆の申告を濟し全く權利を獲得しゐたることを此の程に至り被害者の一人なる面長金秉瑅が發見して卿を其の筋に告訴したるより居昌憲兵分隊にて取調べの上檢事局送り

□紫袴の番頭さんが愛嬌を振蒔いて

仁川女學校展覽會

學校の年中行事の一つとして市民の一般に期待して居る女學校の展覽會は十七日の祭日と十八日の兩日に開かれた、入場者は朝から既に門前に押しかくると云ふ有樣で祭日の如きは混雜する迄の觀覽者があつた、卒業生諸孃の手に成つた一般の裝飾から正門の受附けに腰を下した生徒の姿迄で靜かな秋日に何となき柔らかさを感じさせられる、玄關衝き當りの第一室に先づ

◇淑德を語る生花◇

の陳列に、延ぶるが如き快感を呼び二室の統一室に入つて巧妙な考案に成る成績品の陳列に頭を傾けて三室に廻はると水臺の跡具に膠並べてあると云ふ調子に、習字や圖畫し四室の家事室に行くと流石苦心の跡見れて午前の洗面から午後の就寢に至る迄細心の注意を傘く家庭百般の事が此の一室の中に教へられてある、按排の妙は盡されて五室六室には賣店然として手藝品の色も綾なるとり〴〵の品が數多く出してある、それが悉く一時の間に賣約濟の赤紙が貼らるゝので

◇番頭の生徒サン◇

達はほく〳〵の態である、商賈の實習は之のみでなく翌日になると生徒は此の賣品を一々買主の家迄届けて勘定を戴きに出るので指取りのお稽古迄實習する形ちでなか〳〵骨の折れた者である、毎年此の賣品は隨分の多額に上るので學校の生徒達の商品にも物價騰貴の影響は相應にあるらしい、何にしても女學校の年中行事として學校側も市民側も大分期待されて居るの其の効果は著しいものがあるに違ひない之に就て校長さんは語る

◇私共の考へでは◇

單に學校の展覽會と云ふ計りでなく此の機會を利用して聊かでも一般智識を普及せしむる一助となし或ひは社會の行樂日として一日を此の學校の中に樂しく遊んで貰ひたいとの希望で生徒の畜前卒業生の薫育以外に亦多少の期待を持つて居るのですが一般社會の人が夫れ迄で私共の考へを了解してくださらぬ樣でまだ理想の域に達するには隨分間があるのです、出來る事なら醫師會過りからでも衛生思想普及の一助として標本の陳列とか或ひは病原の說明など有益な資料を提供されて此の會を利用さるゝ樣になると餘程又一般に資する處も多くなるでせうが矢張り經費を要しますので……是非將來に、家庭趣味の爲めに小規模の博覽會見たいな催ほしにしたいとも思つてゐます

◉牛市開場

平壤警察署内大同郡長水院に於て同地の長の發起の下に十五名よりなる組合牛市場を開設したるが資金は平壤地方金融組合より七百五十圓を借受け尚各組合員各自十圓宛を支出して之れに充當することゝなる由なるが頗る盛んなりき

◉仁川人口三萬二千

仁川には何萬の人口があり何千の戸數があるかそれを九月末現在の調査で見ると内地人三千百三十七戸一萬一千九百八十二人、朝鮮人四千五百八十九戸、一萬八千九百十六人支那人三百五十八戸一千五百九十一人其他の外國人が十八戸、三十五人で總計實に八千百〇二戸其人口三萬二千五百二十四人と云ふ數である

湊の砂

■四箇月間漂流 東京府[illegible]社所有[illegible]朝鮮機船[illegible]丸（十八噸）に[illegible]名が乘り組み昨年九月[illegible]四箇月間太平洋を漂流して十二月二十二日英領ニューギニアに漂着して辛くも助かり内三名は此の[illegible]

■老大尉來朝 六十五年前ペルリ提督麾下の一水兵で來朝した八十二歲の米國の老大尉ハーデー氏は[illegible]十月十四日[illegible]の汽船で來朝中[illegible]

■中禪寺湖に投身 [illegible]本松町[illegible]（二二）は[illegible]同郡[illegible]木澤村[illegible]（二二）を連れ家の金百圓を携帶して十二日[illegible]中禪寺湖に投身した

■細民窟に赤痢 東京深川[illegible]町に[illegible]二棟の長屋に十一戸の細民が百餘名一時に赤痢に罹つてゐることを十一日發見して區役所から[illegible]加へた

■老翁一郡を救ふ 京都府[illegible]郡[illegible]村字一口は四十餘戸の一部落だが先頃の洪水に危險に瀕した[illegible]同村[illegible]七右衞門翁（六二）は村民を指揮して堤防の應急修理を加へさせたもので一郡が[illegible]かつたさうな

■香老の溺死投身 神戸市三河口[illegible]本かめ（二〇）といふ美人は十三日[illegible]老の溺に投身して自殺を企てたが通行人に救はれ[illegible]同人は山本[illegible]蛇銀行に勤めてゐるなどと[illegible]るが眞疑は不明であると

京城基督教青年會近況

京城基督教青年會の丹羽總幹事は[illegible]教青年會の[illegible]出席の爲め[illegible]りて同會多年の問題たる會館竣工に寄宿舍建設等の資金募集に奔走中だと聞く總務不在中の同會では各種事務を擧る[illegible]熱心會務の擴張に努力しつゝあるが同會の事業は夜學校、學生部、少年部、英語倶樂部、體育倶樂部、バイブルクラス各科[illegible]

[illegible]であつて夜學校は通學者[illegible]に上り教師は同志社、高師、外國語學校出身者や外國人などで是等教師は獻身的に教授を爲つて居る關つて教授振も親切叮嚀で趣味を含むから生徒は何れも愉快に勉强して得る體育部は水曜土曜の二回朝鮮ホテルのグラウンドで猛烈な練習を行つて居る。又新設されたバイブルクラスは所謂近代語講義で、每回數十名の來會者があり英語會は夜學校講師を初め官、實銀行員、利員等にて或英語の素養ある人士に依つて組織されて居るが英語の熟達を期する便がある講話は之に加はり英語の熟達を期する便がある講話は[illegible]隨所に催すが會部外では三越店員や京城電氣現業員に對する[illegible]月一回の修養講話や倒行奨會所の實業家講話等で頗る效果を收めつゝある

◉庭球競技大會

二十一日午前十時より鮮銀庭球コートに於て京城庭球倶樂部對鐵道庭球部の第二回戰を行ふ

◉歌舞伎座の犬相撲

京城其他各地に於て到る處滿場の人氣を博せる土佐名産犬相撲は十九日仁川乘込み戎亭の論元で二十一二の兩日仁川歌舞伎座で興行する事となれり興行は毎日午後六時からで花火を合圖とし若し猛者犬があれば飛入り歡迎するそうだ入場料は特等六十錢一等五十錢二等三十錢三等二十錢であると是非見落してならぬ大相撲である

◉演風會と追悼會 若草町曹洞宗演風會にては故哥一淺次郎氏の爲めに二十一日午前九時より追悼會を催す由

◉運動會 平壤公立尋常高等小學校に於ては來る二十一日日曜日午後一時より同校々庭に於て運動會を開催すべしと

神社と寺院

○日本組合京城基督教會（南米倉町）十月二十一日午前九時日曜學校及び禮拜講話午前十時禮拜說教『信仰の根據』宮川牧師午後七時半『人生に於ける眞』宮川牧師

○京城日本基督教會（長谷川町）二十一日午前九時日曜學校同十時禮拜說教「信仰と希望」井口牧師同午後七時半傳道說教「生命とは何ぞ」井口牧師

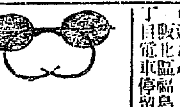
○メソジスト教會（旭町二丁目）二十一日午前八時四十五分日曜學校同十時禮拜說教『聖靈の效果』スミス師、午後八時傳道說教『ジョンウエスレー座右銘』にて永瀨先生

○救世軍の集會 二十日午後七時四十五分本町三丁目角不安の奴隸進軍會二十一日午後八時半永樂町二丁目營内にて人を救ふ力

○南山本願寺信友會例會講話（眞宗）內藤利一（不死の門）竹林賞登（力に付て）大谷輪番

○高野山の月並會（新町）二十日午後八時二十一日午前一時より月並御影供後に師教會の說教談話あり

○薰風會（曹洞宗京城別院）明二十一日（日曜日）午前九時より開催の高山老師の提唱並に眾人御講話あり



眼鏡 米國製 金張眼鏡
[illegible] 中村眼鏡店

自宅職業 熟練日收一圓 ◎特約店募集
有志至急御申込あれ 大阪北區福島中五丁目電車停留場際 二葉商本店

胃病良藥 胃活
東京日本橋本銀町 大阪南久寶寺町 山田安民藥房 本舖

胃が丈夫であれば體力も强健になる頭腦も明晰になる而して有ゆる活動に敏離にも容易に堪得る樣に成る胃を丈夫にするには我陸海軍の五大軍醫が合議して製劑た健胃劑中の王と云はるゝ胃活を服むに限る

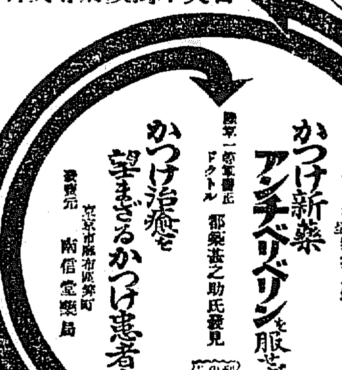
◆稻荷付「變るもの」は「何時見てもかけて」◆一口噺「其時の姿」◆下句付「義理故に」◆折めい◆俳諧連◆川柳「形」

同二十日 同二十一日 同二十二日 同二十三日 同二十四日 同二十五日 同二十六日

内の事◆發表後一週間以内に到着の分は同案者には五十錢の謝禮當選者氏名は京城日報編輯局讀者文藝係へ◆右何號と明記に限る

空前の大好評 特別大提供
活劇 伊國マスコー社名作 ウエニスの一夜
本月東京にて新撮影 小年少女の爲特作せる 舊劇 朝比奈三郎
新規特別入撮影
琵琶 兒島旭洲琵琶彈奏 常陸丸
明廿一日（日曜日）より晝夜開館 黃金館

厚司 蚊帳 扇子 卸商 仁川港 富澤商店



日英米獨政府專賣特許
かつけ新薬 アンチベリベリン 説明書進呈郵券二錢
醫學博士ドクトル 都築甚之助氏發見
かつけ治癒を望まざるかつけ患者なし
東京市麻布區[illegible]町 發賣元 南信堂藥局

内外科 小兒科 花柳病
院長 高井 副院長 千葉醫學士 松崎正彦 高井貞治
京城本町二丁目（警察前） 電話二二六番 診察自午前九時至午後九時 日曜祭日正午迄 正六位勳四等功五級

靴製造販賣
皮より強い値の安い 專賣品柳製靴
日ノ丸國旗附屬品 毛布二枚續き 防水布マント各種 魔法瓶及中瓶取替
京城本町一丁目 高木旅行用具店 電話一三四番

信用ある東京三金の靴
ボックス革製編上靴 第一號 金四圓五十錢 第二號 金五圓五十錢 第三號 金六圓五十錢 第四號 金七圓五十錢
ボックス革製變化靴 第一號 金五圓五十錢 第二號 金四圓五十錢 第三號 金六圓五十錢 第四號 金七圓五十錢
ボックス革製深ゴム靴 第一號 金五圓五十錢 第二號 金五圓五十錢 第三號 金六圓五十錢 第四號 金八圓五十錢
寸法見本付用紙 送呈
以上技術を以て精選せる材料を統一均一の靴は良品にして[illegible]
東京市芝區愛宕下町 三金高等靴店

眼科專門 入院隨意
京城明治町東拓横（電話二〇四四番） 日曜祭日午後二時迄
江頭眼科醫院 江頭富雄

寒い冬に暖かい 鷲印ネルシャツ
純毛及綿毛共珍柄豐富 玉突の圖案ある優美化粧函入 實時候切迫迄の御注文を待つ
鷲印ホワイトシャツ カラーカフス製造元 洋服附屬品卸商
大阪東區平野町心齋橋西北角 辻市商店 電話本局一七三四 振替大阪六四〇八

診察時間 自午前九時至午後六時
初診の御方は可成午前中
京城長谷川町一丁目（朝鮮銀行裏門前） シメノウチ齒科醫院 電話八一二番

帝國鐵道廳總務取締役正五位勳五等岡正矣儀永々病氣の處養生不相叶昨十八日東京府荏原郡大井町一千百九十三番地自邸に於て逝去致候間此段謹告仕候也
大正六年十月十九日 京城電氣株式會社

本會々長正五位勳五等岡正矣儀永々病氣ノ處養生不相叶昨十八日東京府荏原郡大井町一千百九十三番地自邸ニ於テ逝去致候間此段謹告仕候
大正六年十月十九日 朝鮮電氣協會

正五位勳五等岡正矣儀去る十八日午後逝去被致候に付來る廿三日午後四時半本町三丁目五十番地開教院に於て追悼會相營み可申此段謹告仕候也
追て御供物の儀は御斷り申上候
大正六年十月二十日
一の瀨武内 白石寅其 西村道彦 岡本桂次郎 岡本雅功 大久保鎌次郎 村山彦一郎 内山太兵衛 山口[illegible]

新田帶革
朝鮮總代理店 京城本町四丁目 白神洋行
京城南大門外 白神洋行支店
定價表申込次第送呈

豫報

◆京城溫度（十月二十日正午）
京城 [illegible]度[illegible]分 前日最低溫度 [illegible]

[illegible]

左甚五郎

第六十席

桃川如燕口演
浪上義三郎速記

借て名人と相成りまするも何職でも同じことで、是は誰の型だとか云はれ名前を轟かす様な譯でございまするが、然しお職人衆の仕事など、いふものは餘程六ケ敷もので、勿論業となりまする何業でも同じことでございませうが、分けて能くいふお職人、失禮ながら何も飾りのないところに味はひがありまして面白い氣合のもので、怒つて居るのを聞いて居ると、損德ではない○『箆棒め、彼奴にお の仕事をされて堪るものか、俺ア何に損をしても宜い、憖うなりゃア一匹の替へだ、野郎の挨拶次第で俺アもう勘忍がならねから』と呟くポン〱云ふ、勿論稼業といふ位のもので、そんなことはあるかも知れない、茲に甚五郎が氣の毒だと云て人の暇ツかきをして彼方へ行つたり此方へ行つたりして骨を折つた仕事といふのが、淺草渦島町に三五郎といふ大工の棟梁があります、此の人のことを界隈では門跡棟梁といふ、淺草の門跡様のお出入の大工、其の代りチヨイと暴風雨でもつて塀が仆れたぞといふと、ソレ三五郎を呼べ、何處が毀れたソレ三五郎と使ひが來る、又三五郎も大切な門跡様のお仕事と云へば他の仕事を置いても仕事にかゝるといふやうに勤めて居ります、然るに淺草の門跡さまのお堂が是れまで彼方を繕ひ此方を直し、何うかこうか見苦しくないやうにしてあつたが、到頭末には手入れが届かなくなつた、漸々のびく〱になつて居たのが今度は大普請といふことになつた、スツカリ改築に相成るに就て種々の話しがあると、何處から聞き傳へるものか、仲間なら兎も角も素人でも何でも○『今度門跡様の大普請が始まるさうですな』△『エー然うです』○『過日檀家の世話人からそんな話しを聞きました、然うして見ると門跡棟梁は大普請といふことで、何の位ゐ儲かるだらう、小さな家を作らへても大層儲かるといふ位だから、大きな普請になれば素人には細い處は判りませんが、とア棟梁も一度は[illegible]なでせう』なぞ掛けかまいのない素人が、他人の寶を數へると云つたやうな譯で種々な噂をする、途中でヒヨイと三五郎が知人に逢ふと○『棟梁何うも今度は大層儲かるね』三『ヘエ何で』○『だツて門跡様が今度大普請で』三『何に、ナニ、ヘヽヽまア失禮ながら素人衆は然ういふことを被仰いますが、思つたやうなもんぢやアございませんよ、通り一遍の仕事なら兎も角何にしろ平素御厄介になつて居るお寺のことですから、身體で出來るだけのことは何處までも骨を折るつもりで只繁忙い思ひをするだけのことで何に大して儲かるもんぢやアありません○『何うも、旨く云つてらア、借りにでも來られると困るもんだから逃げを張つて』三『何に冗談云つちやア叶けません』○『チト俺の家へも』三『是非伺います』なぞと云ふ様な譯、井戸端で近所の內儀さん達が種々此の話しをする三五郎の女房に會ふと○『今度は姐さんまア棟梁は門跡様の大仕事にかゝるんで大變にお金が儲かるでせう、實にお羨やましい譯で』女房『何ういたして仕手方が宜いんですよ、たアに平素御厄介になつて居ますから、然ういふ時には只繁忙い思ひをするだけのことで然し他人見が宜うございますね、人出入りも劇しくゴタ〱しますから、皆さんも儲かるだらう〱と言ふんで、世間體は宜うございますけれども、家の棟梁なんぞに[illegible]いて見ると、高い手間を拂つて骨を折つて遣つて貰はなければお店へも濟ないから、まア〱精々骨を折つて遣るんだと云う云つて居りますが、まア仕事でも上つてしまつてから好きな芝居でも觀せて貰ふとか、身體が樂になれば棟梁もチヨイと如何な御釋にでも行かれると云ふやうなことなんで、大したこともありません』と腹中では今度の仕事はと女房も思つて門跡様より今に沙汰があるかと待つて居りました。

質　京城太平通二丁目　本多質店　嚴密精々高價御預

十月廿二日　九星
[illegible]

無病長壽を希ふ人ありや
絶して津村兄弟商會の
人參エキスを
知らざる人ありや人參エキスに
親しまる方は一生健全也
京城本町一丁目　津村兄弟商會　電話一四八〇番

汽車

京釜線(南行)　同(北行)　湖南線(南行)　同(北行)　京義線(北行)　同(南行)　京元線(北行)　同(南行)　京仁線(下り)　同(上り)　釜山連絡　平南線　兼二浦線
[illegible]

演藝案內

有樂館　東京小林商會經營一手代理店　米國ユニヴァーサル會社特約　京城演藝部直營　活動寫眞常設館　電話(階上)五九七番(階下)二〇五番
▲日曜祭日晝夜二回開演▲御優待回數券發賣
▲來る十月十八日より公開
米國エルユー社製○滑稽コツタの失敗
米國ブリユーバード社特作▲人情劇『[illegible]の花』(全五卷)
東京小林商會特作○喜劇不破と名古屋(全三卷)市川海老十郎の努力劇
米國ユニヴァーサル會社作△第四の聲 第七編、第八編 [illegible]
▲新派連鎖『[illegible]の花』一名(娘消防) [illegible]

壽館　京城本町　電話一〇五〇
▲浪界の女王吉田小奈良一行
當る十月十九日より二日目語物
▲美久仁の華　吉田文子　▲建久曾我物語　吉田奈美丸　▲齋藤鐵也　吉田照子　▲川東下り　吉田奈良千代　▲水戸黄門公京[illegible]　▲南部坂雪の別れ　吉田奈良榮　▲矢頭の誠忠　佐倉義民傳　吉田小奈良

初日滿員
淺草電氣館　大阪第日座　上場好評
伊太利チネス會社傑作　世界名の人猿コンスル三世出演
人?獸?怪猿
◎淑女と[illegible]連鎖家[illegible]
新派悲劇　人の情　四卷
◎尾上松之助十八番忍術劇
舊劇　江戸城荒し　四卷
[illegible]午前十一時より映寫仕候
見逃す勿れ
大正館

電話二六三七　二三六六　黄金館
[illegible]
▲泰西滑稽貯蓄主▲
▲泰西活劇『ヴエニスの一夜』
▲新派連鎖劇『常丸』
[illegible]

電話八七三　本町　大正館
[illegible]
冒險大活劇　人?獸?
[illegible]

壽座　京城壽町　電話五七八番
▲東京新時代劇愛國正義一行
當る十二月二十一日より初日
小島孤舟作　美術家と[illegible]　第一 [illegible]　第二 上野東照宮　第三 [illegible]　元の門脇邸(第四 玉川堤上)

稻荷座　本町五丁目
新派喜劇改正美團一行
第十二回目替り藝題
一番目　新己が罪　全六場
二番目　生人形　全二場

內地水災義捐演奏會
今回內地の慘憺たる水災に對し本組合妓生一同深厚なる同情を以て演奏會を開催致し惠雖も相救はんとす[illegible]多數御來會御贊助被成下度願上候
一期日　廿三日より一週間
一場所　團成社
新彰妓生組合

白色美顔水

嬉しいと思召す事四つ

學校へ御通學の御嬢様とも〲

餘所のお家を御訪問なさいふ場合、學校には御勉强でも未だお化粧の方には不斗餘りお構ひのない方々は、中々お化粧が美しく出來兼ねます。これは顏の地肌かお化粧馴れしてゐないからで、全く無理のない事ですが、然ういふ場合に白色美顔水をお用ひになれば、誠に勞なくすら〱と、美しい、品のよいお化粧が出來ます。それから

汽車の時間等が迫つて大急ぎと

いふ様な時、または主人が外から御歸宅になると其儘『さあ直ぐ一緒に出かけよう。』と洋服も脱がずに仰在る様な場合、其他何にしても斯うしたお急ぎの時などには得てお化粧も變な工合になり度がるものですが、そこを白色美顔水を一寸お用ひになりますと、狼狽る必要もなく、直ぐに充分美しい整つたお化粧が出來るのです。次に

また顔色の工合吹出物やにきび

で何う骨を折つて見てもお化粧が思はしくなく、斑になり又變な色澤になり、濃く附ければ又白ペンキの様で、如何しても工合が惡いといふ様な場合、白色美顔水でお化粧をなされば、これは又何の勞もなく、すら〱と行渡つて、誠に自然生れつきの色白かと見違へるばかり、すつきりと、高尚な、美しい〱お化粧ぶりを發揮しますのです。それから又

肌理の荒い方　脂の多過ぎる方

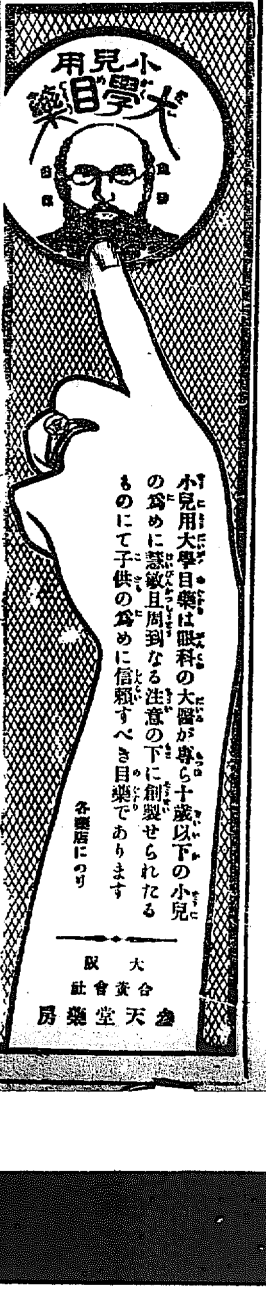
、これは丁度反對の方々ではありますが、お化粧が美く出來ぬ事は一緒であります。此方々は白色美顔水を常用なされば、毎も氣持よく、勞なく、美しいお化粧が出來るこいふお喜びに加へて、肌理は次第に滑かに美しくなり、素顏の美しさを益へる一方、脂の多い方は其爲めに出易い吹出物なども出なくなるこいふ、一寸反對した兩方によい成分を、此化粧料に含んでゐる事が判然分ります。されはこそ白色美顔水は

貴賓の御用品として御信用厚く

世の上中下御家庭の必要品としてます〱人氣を集めてゐる次第であります。萬一にも未だの方は、早く此學者の創製したる新化粧料にて、從來のお化粧の缺點をお取去りなさる樣お薦めします。

(定價一瓶金二十錢　各化粧品小間物店にあり)

▲名譽ある白色美顔水を創製したる
桃谷研究試驗所
所長　藥學士　桃谷順次郎
技師　理學士　西澤勇智志
仝　醫學士　米倉昌達
仝　千葉藥學士　小磯勝次郎
仝　同　藥學士　齋藤銳助
顧問　藥學博士　丹波敬三氏
　　　醫學博士　山本淳一氏



京城日報
第三版
二十一日朝刊 (朝夕刊併せて八頁)
本紙定價 一部金二錢五厘 一ヶ月金五十錢
廣告料
發行所 京城太平通二丁目 京城日報社
發行兼編輯人 奥田直毅 印刷人 小川三之介

獨逸の石炭研究(三)

醫學博士 佐藤傳丸氏談

フイッシエルは更に進んで他の溶解液を求め抽出の功は十分で且低温に於て全部抽出物から驅逐し得るものを得やうと努めたが終に液體亞硫酸が此目的に合することを發見し然るに此法を以て處置した石炭は

△不思議にも 全然固さを失うて少しでも之に觸るれば忽に碎けて粉末となるのである是れ明かに亞硫酸が石炭の凝聚物質を完全に溶解したもので此の凝聚物質こそ『テール』の原料である此抽出物は亞硫酸を蒸發させた後には暗紅色の重油で更に進んで之を精製すれば輕い石油に似た油と金色の油とに分れ又褐炭を同じ方法で抽出すれば立派な樹脂が殘る

△此研究成績 は學問上にも實地上にも甚だ有益のもので第一之に因て重油發生の上に新しい光明を得た即ち重油は既に多少抽出し得た物質は單に石炭の一小部分で其の主要の成分即ち元來の木質の變化に因て生じた部分には全く手が著かないのだがフイッシエルは此方面にも研究を遂げて成功した即ち細末にした石炭を永い間常温で『オッオーン』化した酸素を以て處置すれば石炭の九割二分以上は冷水に溶けて暗褐色になる此液は酸の性質を有して居て

△金屬と共に 鹽類を形成する又此水を蒸發し去れば跡には暗褐色の物質が殘つて砂糖の焦げたやうな臭を放つのであるこれで石炭と砂糖との關係が分つて來た然し此糖臭の物質の研究は未だ完結しない、石炭『テール』の蒸溜に因て出來る『ナフタリン』は獨逸で一箇年に八萬噸に上るのであるがフイッシエルは一種の金屬化合物の助を借りて『ナフタリン』の殆ど半部を液狀の燃料に變じ得た、又褐炭から瓦斯を製する時に生ずる副産物の『テール』は

△從來厄介視 せられて居たが之を『ベンチン』で抽出すれば褐色の軟膏樣の物が出來る之は革を鞣す目的に應用することが出來る從て今まで之に用ゐた動物性の油を他に流用し得ることになる又同じく『テール』を『ベンッオール』で抽出すれば漆のやうな物が出來る之に『オッオーン』を働かせれば漆又は樹脂のやうな物質の外に脂肪酸が出來るそこで炭と脂肪との奇妙な關係も分つて來た、フイッシエルの研究は益々進行して停止する所を知らないのである石炭の『エナージー』を直に

△電氣に變じ 得るの日も或は遠くは無いであらう今日でもまだ石炭から蒸氣を作り『ダイナモ』を動かして電氣を起す爲に最も物の『エナージー』の四分の三は途中で消ねて仕舞のであるからどうしても學問の力で此不經濟を止めねばならぬ

航空界と歐洲戰(三)

帝國飛行協會長 長岡外史中將講演

第二は偵察である、偵察は從前騎兵の役目で騎兵は軍の眼目なりと言つたものだが、今日は飛行機に其の役目を讓つた。之は寫眞術の進歩に依る。只今では少々天氣が惡るくとも六千尺乃至一萬尺の高空から立派に寫眞が撮れる。そこで昨夜迄は是れ丈の塹壕であつたが今朝になると是れ丈け延びたと云ふ樣な事は皆寫眞で判かる。面白い事は其の寫眞を倫敦に飛行機で持つて行く、倫敦では練兵場に其の寫眞通りに塹壕を築く、塹壕は何處でも深さ幅とは同じだが、壕が判らない。擬て來月半頃イーブルを攻撃すると云ふ事になると、其の練兵場の塹壕で實込め〳〵の練習をやる。皆能く解かる。そこで佛蘭西の戰線に送る。

行つて見ると論敦の練兵場のにである。又或は行軍縱隊が通るとする。且速飛行機が頭上に現はれて寫眞を撮る。大砲何門、馬何頭、人員幾何と云ふ事が直ぐ判かる。故に今日は敵の中樞は別として戰場の行軍は絶對に出來ない。皆夜に行軍爲て居るのである。次には着彈位置を見定める。只今の大砲の進歩では第一發の着彈點が判明すると四發乃至六發で立派に目的物に中てる事が出來る、從來は獨逸出來の眼鏡で見たり、屋根や樹木に引掛つて一生懸命見屆けやうとして居つたものだが却々判らない。所で今日は飛行機が之をやる。前申す通り、飛行機は悉く無線電信を有て居るから、高空にふら〳〵飛翔し乍らオット今のは三百米突遠過ぎた。今度は百五十米突近過ぎた。右へ百米突行つた。オット今度は左に五十米突過ぎたと通知すれば其の次には大抵的中する、即ち五發か六發で命中するのである。一昨年の大晦日にナンシー市に明日は正月の元日だが午前九時を合圖に最初は市役所を叩毀はす、次に美術館、次に何と云ふ風に、ちやんとプログラムを刷つて、獨逸飛行機の上から撒布し去つた。本當に來るならば前以て通知抔爲やすまい。之は脅かしであらうが、併し獨逸の事だから行り兼れも爲まいと、疑問と不安の念に襲はれて居つた所が、午前九時になると果して行り出した而かも前日のプログラム通り片ッ端から明き毀したのである。之れは飛行機が通信して八哩半の方から大砲を撃つたのが命中した譯である。戰場に於ても亦此の通りであるから、朝早く起きると兵隊は空を見て、若し飛行機が飛ばぬと、今日は無いと言ふ。實に飛行機は戰爭の指導者である。

又人を殺傷するには三つの方法がある。第一は西洋釘の頭を潰した樣な先の尖つた一種の釘である。今日の飛行機は自體の重さを加へ十噸丈けの重量までは飛翔する事が出來るから、小さい釘抔は何萬本でも持つて上られる。それが敵の頭上に現はれてトン〳〵と足の先きで踏とザッ〳〵と釘が雨の如くに降る。釘は小さいものだが、何千米突の上から降つて來るので燒け切つて居るから堪らない。此の釘が獨逸強行騎兵の鐵の冑を眞つ二つに割り、乘馬の腹の眞中で止まつて居る光景をエッキス光線に撮つたのが、吾が飛行會に來て居るが餘程强い損害を與へる。第二は燒夷彈である。即ちテルミットと云ふものであるが、之は一旦火がつくと自體の存在する限り、水中でも燃ゆる。併し之は餘り今日の西洋建築では効能が無い。西洋家屋は建築條例で、規定されて、家屋は耐火的に出來て居るから、テルミットも大した効果が無い。第三は爆彈である。之は隨分可恐き損害を與へるもので、現に阪谷男爵が倫敦會議に列席する際、倫敦に落ちた際、倫敦は恰も獨逸のツェッペリンの襲擊を受けた。隨行の大藏省の書記官の見る所に依れば、第一に水道や瓦斯の鐵管が破壞し一時大混雜をしたが、倫敦は直ちに應急の手段を講じたが、之が爲め四丁四方の家屋の窓硝子は粉微塵に毀された、と云ふ事から考へると餘り小さい損害では無い。

支那漫遊

大食小能

蘇峯生

新市街の東淸鐵道廳を見物す。我が滯信者に匹敵す可き大建築也。但だ驚き入りたるは、各室與に人の充滿と、廊下往來の者、群を爲す事也。人或は露人を評して、彼等は三人前以上の大食者にして、半人前程の働きもせずと云へり。此れは酷評ならんも、露人の能率の低下なるは、恐らくは支那人の好敵手たらむ。

轉じて東淸鐵道の經營にかゝる、男女商業學校を見る。校長丁寧に案内し、授業室やら、標本室やら、體操場やら、食堂やら、あらゆる方面を引き廻せり。概して露國流儀としては、淸潔なりき。語學は英語と支那語とを教ふと云へり。予は更らに日本語を加へては奈何と云ひしに、追ては然かす可しと答へたり。

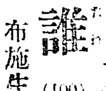
鐵道倶樂部に立寄り、委員室に抵れば、一老人は頻りに予を捕へ、何とか露貨騰貴の方法はなき乎と質問せり。予は笑ひながら、追てはさる事もあらむ。我が邦人にも露貨を買收しつゝある者ありと云へば、そは騰貴せしめんが爲にやと云ふ。否な騰貴を見越してなりと云へば、彼も亦た呵々大笑せり。

目下午時我が一圓と相匹したる一留は、一圓にて四留と代ふ。老人の愚痴も偶然にあらず。倶樂部にて午餐し、園中を散歩す。薔薇の葉の如く紅に、白樺の葉は黄に、楊樹や、楡樹の葉は青く、而して樹下、庭前、日光温射、何となく小春日和にて、一滴の酒を飲まざるも、陶然たる心地せり。

露國の極東經營は、三十七八年以來正しく大頓挫をなせり。爾來哈爾賓の如きも、全く其の經營を中止したりと云はざるも、其の氣勢を減殺したるは勿論。而して今や大戰爭と、革命との影響を受け、殆んど百事荒廢の姿なしとせず。而して勞兵會の勢力は、此處にも波及し、今や市の行政は、彼等の掌握する所となり、事毎に東淸鐵道幹部を、掣肘しつゝありと云ふ。現に當地名物の一なる、チユリン陳列店——我三越の如き者——に赴きたるに、一時より三時迄は、閉鎖しつゝありと云ふ。此れ勞働時間制限の爲めにして、銀行の如きも、三時以後は、必ず休業す可く、爲めに露亞銀行の如きは毎日正味三時間位の執務時間なりと云ふ。革命黨の社會政策も、此に至りて寧ろ滑稽に近しと云ふ可き歟。

大正六年九月三十日 哈爾賓に於て

誰 (100)



布施生譯

そう言つて其日も手療治を續けたが翌日は果して餘程輕くなつて快く朝飯もたべた、そして之から外出するんだと云ふ位の元氣であつたが其内又俄に昨日と同じ症狀に陷つた、敷敏は何と思つたか今度は頻にも譯らず急いで近所の醫者を喚びにやつた。

醫者は仔細らしく診察して彼の格別氣遣ふ程の病氣では無いと言ひ乍ら取敢へず濕布をした上頓服用のモルヒネと外に藥を二種ばかり置いて歸つた、其効驗が夜になつて顯はれかけた、敷敏はぐつすり寢入つたが其三時間ばかりの間に不思議や症狀は一變して腫脹や顎の痛は取れたが、今度は全身が腫れ出した、翌診にきた醫者は腑に落ちない顏貌をして、ふしやモルヒネの過飲ではないかと問糺したが、利介は頭から受附けずに何處迄もそんな事は無いと主張つた。醫者は敷敏の手足の節々が膨れてゐるのみでなく痛が甚しいのを見て頭を傾げながら兎に角應急の處置をして歸つた。

醫者が歸つたあとで敷敏は俄に公證人を喚びにやつた、利介は愕いて、何だつて急にそんな事をなさるんです。と止めてみたが敷敏は背かず、己の命數はもう極つてゐる、己は整然と始末をつけて死にたいんだ。と主張つた。招かれてきた公證人は敷敏の依頼が自分の繼嗣を定めるに在るのを知ると莫大な相續税を免れる手段として今のうちに財産を敷敏と弟との合同出資と云ふ形に改めておく方が得だと献策した、敷敏は租税の事は兎に角そうした方が萬一自分の死命が縮いてゐる場合、弟の爲にも損じないで共同して事業を經營してゆける利益があるやうに思つたので結局それに同意した。利介はその話を聞くと強て辭退して、何だつてそんな事をなさるのです、兄樣が御丈夫な間は私は一處に出處で働かせて貰ひます。若し兄樣がお逝去になれば私は當然に繼がせて貰ひます、何も今更俄にそんな四角ばつた事をする必要があるもんですか。」そう言つて辭退したが、兄は一旦かうと思ひ定めたら誰が何と言はうと背かぬ性質であつたので、とう〳〵利介は說伏せられた。そして共同出資の形に證書一切を作製してしまつた。

利介は今や二十萬圓からの財産の主となつた、それから上る利益は程少くも年に二萬圓を下らない。之が一年前だつたら利介はどれ程喜んだ事であらう。焦慮な事には巴里での悪策はもう餘りに持續し過ぎた、利介は兄が巴里へ往つて、大人に逢ふが最期自分の悪事が暴露するのを心配した。敷敏は又敷敏で少し身體が良くなると共に先達て故郷の友人に手紙を出して敷姫の縁付先を問合せてやつたのに未だに返事が來ないと言つて焦慮し始めた。待兼ねてゐる其返事は利介の悪策で先日破つて仕舞つたのだもの、いくら待つたとて今更敷敏の手に這入る筈は無い、それとは知らぬ敷敏は今度は郵便でなく態々故郷まで使を立てゝ返事を聞きにやる事にしたが、利介の方に抜目はない、其使も矢張り利介の手を出るか出ぬに利介の手で押止められて事實先方へは往著かなかつた、こんなにして數日を過すうち如何したのか敷敏の病は又俄に惡くなつた。もう覺悟した敷敏は利介の膝を枕にして何にも言はずに最後の息を引取つた、利介は順當に跡を繼いで幾百萬の大身代となつた、利介が賴太郎に電報を打つて『明日巴里へ歸る』と知らせてやつたのはそれから幾日もたゝぬ後であつた。

[illegible] 米穀帆船輸送 [illegible] 原因に運賃の倍額値上 [illegible]

安藤善四郎著 朝鮮鑛石學及採鑛法 發行所 京城本町二丁目 ウツボヤ書籍店
▲本書は有用鑛石鑑定表、朝鮮鑛業令、鑛山所在地▲ 附録 探鑛法、鑛山發見法、鑛石分拆鑑定法、各道地質鑛脈 一切に關する初學者にも一讀了解し得る當業者諸氏必讀せらる可き參考書也と信ず
四六版百五十頁 並製壹圓貳拾錢 上製壹圓四拾錢 送料六錢

朝鮮總督府編 朝鮮藥草料植物調査書 發行所 ウツボヤ書籍店 四六版洋裝 定價九拾錢 送料六錢
本書の公にせらるゝや學校、病院、醫生、藥店植物採集者より大好評を以て迎へらる 原名の外鮮名、効用、産地、附録には漢藥價格表を付す 朝鮮に於ける唯一の藥用植物書なり
大賣捌 京城本町 大阪屋號書店 京城日報代理部 巖松堂 日韓書房

夏目漱石先生一代の傑作 縮刷 漾虛集
今般讀者諸君の御勸誘により從來菊判にて御求めに應じ居り候ものを更に縮刷に改め發賣仕候間不相變御講讀の程願上候
◇倫敦塔◇カーライル博物館◇幻影の盾◇琴のそら音◇一夜◇薤露行◇趣味の遺傳
津田青楓畫伯裝幀 寸珍美製 全一冊 正價金壹圓 郵税金八錢
第卅四版 吾輩は猫である 裝幀新 全一冊 正價金一圓卅錢 税金八錢
第五版 行人 裝幀清新 全一冊 正價金一圓卅錢 税金八錢
第二版 文學論 裝幀無類 全一冊 正價一圓七十錢 税金八錢
▽大取次店 京城市本町一丁目 大阪屋號書店 京城市本町二丁目 日韓書房
東京日本橋 大倉書店

十一月號 幼年の友
二重人形 汽車に乘る人 新案繪變 大演習參觀
このほか ▲イック島見物 ▲三日月サマ ▲風ノ神征伐 ▲フシギナ水 ▲伊賀ノアダ討 ▲トリト卵 ▲鶏ノオヤコ ▲フシギ問答 ▲カハイ羊カヒ ▲オヤ〳〵 ▲シャベリ馬 ▲ダレデセウ
一冊三十錢 税五厘 東京市京橋區南傳馬町 實業之日本社

▼有斐閣編輯部編纂□□□ 現行法規大全
豫約申込期限十一月十五日限 期限後は斷然正價に復す。
四六二倍判背革金文字入全一冊 正價金十三圓 豫約特價九圓五十錢 送料內地廿八錢 鮮支六十錢
明治元年より大正六年九月に至る五十年間の法令を網羅し、引出自由自在、掌を指すが如く搜查するも
前金不要 豫約募集 製本十月下旬出來 着金順に依り發送
豫約申込所 東京神田一ツ橋通町 有斐閣 振替東京三七〇

陸軍拂下 並に官衙拂下品 寢臺、袴下、靴下、手袋其他各種 京城府漢江通三● 電話長三三六番 佐藤古着店

朝鮮總督府遞信局 拂下 入札 競爭 一、船舶 二十五馬力石油發動機 外參點 詳細十月二十日ノ本府官報ニ在リ

代書大博士 ▲▲第五十八版出來
特價送料共前金七十五錢 郵券代用一割增 ●本書は代書業の現行の手續、屆書式一切を明かに示してあるから此書があれば男女年齡を問はず日本中隨意の土地で簡易に代書業となり筆一本で實收入を得る事が出來る本業なり副業にも早始められ法律に制限のない業であるから今の內に試驗で開業が出來る
特典 此際同様日用書を購讀者に限り無料講習及就職の便を與ふ
注文申込宛 東京本所區役所東門前 大日本代書業講習會出版部 振替東京二九六〇一番

最新刊
理想の珠算 石上數之助 七五
獨乙の肉彈 若浪杏二郎 一、〇〇
國民經濟概論 田中穗積 一、二〇
腦神經衰弱自宅療法 河野 一、三〇
衣食住に關する日用料理講義 矢野道吉 八五
債權法大綱 石坂音四郎 二、四〇
壽語注心經 中原鄧州 一、八〇
水彩畫の描方 三宅克己 一、六〇

露西亞に遊びて
投入花寫眞百景 近藤正一 三、〇〇
人生の迷路に立ちて 關露香 一、二〇
新註近松名作集 近松秋江 一、八〇
死 有馬武郎 五五
小倉百人一首標準かるた 坂本 札揃 八〇

大阪屋號書店 京城本町一丁目 振替京城二七三番

新古ミシン賣買 針●油●部分品卸賣小賣 ミシン塗替●修繕
○地方代金引換 ○市內電話にて御注文次第配達

楠ミシン商會 京城鍾路三丁目 公園近

ムーン瀬戸の激戰

露軍公報＝敵は全くエーゼル島を占領せし我軍は軍用上の價値有るものは悉く之を破壊したり敵は我イルベ海峽の制海權を奪ひたる後リガ海に突入しムーン瀬戸の我哨艦を壓迫せり我戰闘艦グラスダニン號スラヴア號及び巡艦バイアル號は敵艦と交戰し其の先鋒艦を驅逐せり我艦隊はグンロツゼルクルフルス型弩級艦二隻を有する敵の主力艦隊と交戰したるが敵艦の砲撃は著彈有利なりし爲め長時間に亙り瀬戸入口を防禦せる我軍艦數隻は多大の損害を被り終に退却の已むを得ざるに至れり我戰闘艦スラヴア號は水線下に數個處の命中彈を受けたるが乘組員は殆んど全部救助されたりムーン瀬戸入口の我海岸砲臺は我艦隊に接近せんとする敵の水雷艇を驅逐し其他の敵の弩級艦一隻は我砲臺より發射したる砲彈命中し戰闘力を失ひたりムーン瀬戸の我艦隊の一支隊は北方より襲來したる敵艦隊の攻撃を阻止したり同時に多數の敵航空機は港灣内に在る我艦船に對し多數の爆彈を投下せり敵艦隊はダゴ島に數個の小支隊を上陸せしめたるも我砲火は是等の小支隊をして其艦船に引揚ぐるの已む無きに至らしめたり次で敵の巡洋艦一隻及び弩級艦一隻は右の上陸地點を砲撃せり我哨艦の報告に依ればエーゼル及びダゴ兩島最近に在る敵の艦船は五十五隻に達すと(倫敦電報)

墺皇帝列席せず

羅馬來電、墺國皇帝は同國内の形勢頗る險惡なる爲め勃國首都ソフイヤに於ける中央諸國元首會議に列席することを思ひ止まれりと(桑港電報)

米對露供給問題協定

十九日大阪着、某所入電に依れば露米兩國間にて交渉中の露國西伯利亞鐵道及び軍用鐵道問題は一萬臺貨車十五萬噸供給問題協定され兩國の調印を了したり尤も北部は結氷西部はリガ陷落の爲め露國軍需品輸送力の減殺に對し東部に於ける輸送力を增加して之を補充すべく米國は露國政府へレール、スプリング、車輛其他多額の鐵道材料を供給すべしと(大阪特電)

北京政府外交團へ通告

北京外交部は四川省に於ける政府は叛徒と交戰を開始するの餘儀なき事情及最善の力を努して該地方在留外國人の生命財産を保護すべき旨北京外交團に通告せり(北京特電)

龍莫兩氏廣西攻擊

龍濟光莫擎宇兩氏は西南反對の旗を擧げ其の司令部を香港に置き一部を欽州に上陸せしめ廣西攻擊を爲すと共に十五日汕頭を發し砲艦五隻は十七日厦門に集中せり(廣東特電)

周氏雲南軍討伐宣言

四川代理督軍周道剛氏は十七日戒嚴令を布き且つ雲南軍討伐を宣言せり(北京特電)

陸龍濟光を攻擊せん

陸榮廷氏は愈々大事決行の決心を爲し在廣東の雲南軍に對し龍濟光氏攻擊の準備を命じたり(北京特電)

山砲兵編成替

政府は嚢に山砲兵の在營年限を三年より二年に短縮したるが來る十二月の新兵入營期より各師團の山砲兵六隊は聯隊に編成替を行ふこと成るべく其完備完成は本年度より大正九年度に亙る繼續事業として六十二萬餘圓の豫算に據つべしと(東京特電)

安田善三郎氏

支那視察の途に就く安田善三郎氏は元總領事永瀧久吉氏を伴ひ二十日午後四時東京驛發支那視察の途に上れり(東京特電)

◎山本氏一行消息

政友會總務山本達雄氏一行二十日午後八時大連著遼東ホテルに投宿十二日旅順に赴き二十三日午後發北京に向ふ筈(大連特電)

◎入江書記官著連

拓殖局書記官滿鐵會社監理官入江海平氏は滿洲視察の爲め哈爾賓丸にて大連著ヤマトホテルに投せり(大連特電)

隱元豆好望

時局の影響を受け前年來順に輸出に於ける[illegible]增加し[illegible]收穫高も增加し津輕地に於ける收穫高は優に七萬石以上に達すべく[illegible]きが本年は一般に豐作不作なれば[illegible]態なるが本秋は歐洲行船腹不足の爲め[illegible]價格を[illegible]間に十萬圓を超ゆ尚ほ日々一萬圓以上の貸出しを爲しつゝあるの狀[illegible]

春季樹苗事業

大正六年春季に於て恩賜金國費及地方費を以て各道の施行せる樹苗圃事業は概ね三月下旬より五月中旬に至る約九十日間に亙り種子約七百八十三石を播種し約八十一萬本の挿條を爲し且つ幼苗約二千五百八十六萬本の床替を行ひ更に前年施行せる幼苗床替約六十四萬本及び種子約四石二斗の播種床を据置して保育せり、以上の各事業に對し大正七年春に生育す可き見込苗數は成苗約二千五百五十三萬本幼苗約四千三百九十四萬本合計六千九百四十七萬本なり、本春生産せし苗木は約六千二百八十萬にして其の内三百五十萬本を造林に用ひ三千四百二十九萬本を苗圃に床替し幼苗約六十四萬本及び種子四石二斗を据置とし尚ほ二十九萬本を雜用に供せり、又た購入せし苗木は約四百五十五萬本にして其の内約三十七萬本を造林に用ひ約百六十六萬本を苗圃に床替或は挿條し約二百五十二萬本を一般に下付し尚種子約七百九十二石を苗圃に播種し約五十五石及び挿條四十一萬本を一般に下付せりと

朝鮮遞信協會組織

遞信局長官持地六三郎氏は今夏就任以來遞信協會組織に付研究中なりしが最近總督の承認を經愈々一大組織を見るに至れり

▲官紀の儼存する所ある規矩準繩の條理井然たるものありと雖も苟も從業者をして各々其の職務を完うし其の效は地に應しめんには[illegible]

▲鮮遞信協會設立の目的

[illegible]

各府縣へ御下賜金

水害御救恤の爲

天皇皇后兩陛下には先般の暴風雨罹災者御救恤の爲め二十日左の通り御下賜金の御沙汰ありたり(東京特電)

金六百五十圓 京都府へ
金一千八百圓 大阪府へ
金九百圓 埼玉縣へ
金六百圓 奈良縣へ
金七百圓 新潟縣へ
金一千圓 靜岡縣へ
金九百圓 宮城縣へ
金四千圓 福島縣へ

▽朝鮮にも御下賜

天皇皇后兩陛下には去る七、八兩月中朝鮮總督府管下に於ける暴風雨の爲め被害少からざる趣き聞召され二十日左の通り御下賜金の御沙汰ありたり(東京特電)

金二千二百圓 朝鮮總督府へ

▲遞信當局の談を聞くに曰く

遞信局の司掌監督に屬する遞信諸機關は郵便局、郵便所、電信取扱所、郵便爲替貯金管理所、海事出張所及び燈臺を併せて無慮六百十六箇所を算し之に從事する職員は判任官以上一千二百三十八人傭員二千九百八十八人傭人四千六十九人合計八千二百七十九人に達し候此の龐大なる組織を擁し之が按排經營をして些の遺憾莫らしむるは容易の事に非ず殊に通信諸機關に在りては公衆日常生活の必須條件たる郵便、電信、電話、郵便爲替[illegible]

觀瀾亭雜俎

蘇峰生

○近來の歐洲電報は、獨逸皇帝が、前露皇を、丸るで傀儡の如く、玩具の如く、勝手次第に、操縱したる顚末を、追々暴露しつゝあり。されど苟も近時歐洲の國、政局に、着眼するものは、斯る事は、豫て覺悟の前たりしならむ。少くとも斯くありしならんとの見當は、蚤くに附け居たりしならむ。

○詭譎、權變は、ホーヘンツォレン家の家傳政策なれば、現獨逸皇帝が、二枚舌を使へばとて、何人も驚く者なかる可し。但だ彼が其の位置の進歩と與に、變通を知らざる事は、笑止千萬也。

○普國のフレデリキ大王によりて勃興するや、小國より大國に變化するの中途なれば、其の所作の不謹愼なるも、聊か容恕す可き理由あり。其の詐術も、自から大ならんが爲に行うたる、餘儀なき方便と見ば、之を正認せざる迄も、辯護も出來る也。

○されど獨逸の現時は、世界の強大國也、唯一とは言はざるも、強大國の第一と云ふを得可し。斯る場合に於ては、獨逸皇帝たるもの、所謂る逆取、順守の策を講ぜざる可らず。利貸にて、身代を作り上げたる者も、富豪となりたる曉には、立派なる銀行家、若しくは事業家と爲る也。然るに一國の帝王として、其の變通の大作用を自覺せず、徒らに先代の政策を踏襲したるが如きは、其の短視も亦た甚だしからずや。吾人は逆皇帝の、智者たる所以を解せず。

審查委員決定

二十七日より商品陳列場に於て開催す可き釀造品々評會審查官及び審查委員は十八日附を以て左の如く決定囑託されたり

[illegible]

軍司令官視察

松川軍司令官は二十日第三琴平丸にて元山著二十一日虎島要塞及同司令部病院を視察し二十二日[illegible]

鳥居龍藏氏入京

東京帝國大學講師總督府古蹟調查囑託鳥居龍藏氏は今回慶尚南北兩道に於ける有史以前の古蹟調查の爲め二十日夜入京京城ホテルに投宿せるが總督府にて諸般調查打合せの爲め兩三日滯京の上直ちに實地調查に著手すべし

人

[illegible]

百聞百種

[illegible]

宮内省御用達

キッコウマン

最上醬油

萬

一等萬 醬油の名譽

龜甲萬印醬油は時代の趨勢を逐ひ常に醸法の改善と品質の精撰とを怠らざりし結果藩政時代には内丸御用を拜し明治聖代に進んでは畏くも帝室大膳寮御用の恩命を拜し且内外國博覽會に出品しては毎に最高の賞牌を受領し斯業界幾多の出品中最も優良にして光彩ある逸品なるか[illegible]

千葉縣野田町 茂木佐平治 印醸造元

橫濱市元濱町三丁目 醬油輸出荷捌所 印輸出元

一、醬油壹樽 九升詰 參圓參拾錢

總金額 金壹萬貳千圓也

壹等	壹圓券	貳枚	六圓也
貳等	五拾錢券	參枚	六圓也
參等	壹圓券	五枚	五圓也
四等	五十錢券	十枚	五圓也
五等	二十錢券	三十枚	六圓也
六等	二十錢券	六十枚	六圓也
合計		百枚	四十四圓也

謹啓秋冷の候に候處各位益々御清榮奉大賀候陳者毎々格別の御愛顧を蒙り難有奉感謝候就ては今回萬[illegible]澤印醬油輸出荷捌所を設置候に付右記念の爲來る十月廿日より支那及滿洲に限り左の方法に依り福袋入景品券附を以て發賣仕候間何卒御用命被仰付度奉希上候

[illegible]印醬油

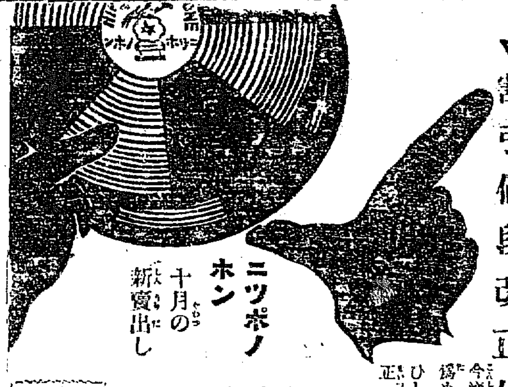
新學期開講 實修女學講義錄

自宅に居て家事の傍ら僅少の學費で高等女學校を卒業出來る講義錄

會長 下田歌子 會則無代進呈 東京神田駿河臺 振替東京三〇四 大日本實修女學會

福袋入景品券附大賣出

▼割引値段改正仕候



今般原料暴騰にも不拘、弊社は御引立に酬ゆる爲め今日迄隱忍三五割引きの萬値段を維持仕居候ひしも、最早如何にも致し難く、茲に割引値段改正仕候間倍舊の御引立を賜れ度候

鷲印レコード 金壹圓五拾錢の五拾錢引

一義太夫 日蓮記 豐竹古靱太夫 鶴澤清六
一清元 權八 清元喜久太夫
一落語 すつとけ 柳家小さん
一お伽 浮かれ閻魔 專屬演劇部員
一歌劇 はやし連中
外 眞山の講談(秋色櫻) 大阪落語は三府の言葉
近江八景(花橘)オーケストラ、地唄等
右發賣

金壹圓五拾錢の五拾錢引賣出し

ニッポノホンの新製品 スタンダード西洋剃刀 定價壹打 金廿四圓 全國到る所の特約店販賣店にあり(スタンダード印御注意)

朝鮮京城本町二丁目二十九番地 株式會社 日本蓄音器商會 電話一二八三番

天下一品 白鶴 增本酒店 電話九〇 本町三丁目 仁川

京日案內

◉朝鮮語無料教授 但市内わ教る に行きても宜敷し 京城府内雲洞一一七 安廳梧 737

◉金融 月收の方へ極秘信用貸付 宜立替御相談に應ず又新來の方 花園町八七 大和屋質店 [illegible]

◉店員入用 十八歲以上要保證人 希望者履歷書携帶本人來談あれ 仁川 向野酒造場 729

十月生れの女兒預けたし希望者は至急御來談を乞ふ 南大門通二丁目 硝子商藤村支店 728

◉濁酒本年は特に上出來 731

◉懇切立替御相談に應ず京城 大和町三の三二(納潔前)起ち屋 709

(電話三〇三)龍山 九三 西 [illegible]

御祝儀下宿し [illegible] 本町一丁目(明治町筋) 野村書店 電話三〇五〇番 720

番外 運送業に經驗ある人を至急求む 姓名在社 735

恩給 年金五年半分迄 低利無掛引即時 立替 若草町百六 電話三千十一 西村商會 599

銃砲火藥 獵具 京城本町三丁目 電話二〇九二番 增戶銃砲店 616

恩給年金立替 五年半分迄 利 電話三三九一番 京城若草町 國江商會 667

生花 盛花優良材料販賣 諸流先生御用 ◉取引誠實安全 京城旭町一 電九九八番 月桂冠店 716

恩給年金即時 長期低利現金 三年分迄無保險 京城南大門外 一街御成町一 山口屋 電二六八八番 671

質 業務一切親切に取扱ます 明治町二丁目 交番前東小路 片山質店 726

アナタの胃病にはマーゲン

強胃消化錠

八木田博士推奨 島田博士御鑑査

マーゲンの特色 [illegible]

本舖 [illegible]

…[illegible]出張所となり…豆は一般農民が其の好望なるを看取せると當局者に於て栽培を奬勵せし結果本年は其栽培反別を激增し隨つて自然[illegible]下清津方面より其買出しに奧地に出向ふもの激增し清津農工銀行に於ける其買出資金の如き優々二萬[illegible]圓の模樣なり[illegible]好景氣にて本月十一日清津より內地への初移出品四十六石は一石三十五圓にて取引されたるが尙好況[illegible]（清津）

多年の御惱み一掃されつ

◇李王殿下御齒の治療を◇

＝卅本の義齒を滯りなく＝

李王殿下は約二十年程前より齒患に罹られ近來益々御惱み甚だしきより總督府病院の神岡醫官、陽記侍醫安商浩氏の診察を受けられ居りしが三十二枚の御齒中追々脫落して

回今は十八枚の殘 すのみとなり夫れすら近頃は堪へ難き御惱みに苦痛の度を增すのみなるより長谷川總督は痛く氣遣はれ過般東上の折齒科醫の大家として知られたる醫學博士島峰徹氏を聘し根本的治療を爲すこととなり博士は去る十二日著京の上翌十三日午前十時昌德宮に伺候し診察の上同日午後

回一時より手術に 著手し殘存せる御齒十八本を全部拔き取りたるが其の際殿下は局部麻醉劑を掛けたるのみにて普通人の耐へ難しとする苦痛を忍ばれたるにぞ近侍の者も驚きたりと斯くして一時に十八本も拔き取りたる後の經過は極めて良好にして十八日漸く齒型を取りたるが、此の齒型は極めて

回進步したる方法 にし最初粉末劑と藥液と混和したるものを齒根の中に詰め約四五分間を經て凝結するを俟ち夫れを取外して假の義齒を造り二十日此の義齒を挿入し置き更に本義齒を納むる事となりしが右本義齒は二十二日頃出來上る筈にて

回全部の手術を終 はるべしと尙義齒は三十本にして手術後は全く舊狀に復せらるゝ由因みに此の義齒は總て特製の物なれど畧ぼ普通の護謨にて齒は琺瑯を以て製りたるものなりと

目醒むる許りの操練振り

＝◆京城府內消防隊の秋季點檢◆＝

◇五彩の霧秋日に映じて美觀言ふ許りなし◇

快よく秋晴れた二十日の午後一時より龍山練兵場に於て京城府內消防隊全部の秋季點檢擧行されたり此の日京畿道警務部常備消防隊、京城、龍山、新龍山、麻浦、桃花洞の各消防組は所轄各警察署の主任官に引率され正午迄に所定の

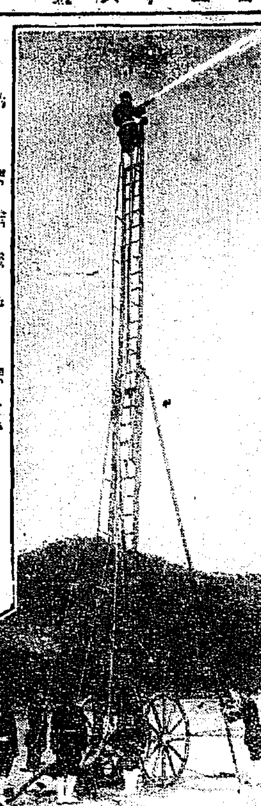
▽點檢場に整列 す會場は入口に大國旗を交叉し場の中央には幾張の天幕を周らして來賓席に充て秋天高く萬國旗を蜘蛛手に吊して場の內外の裝飾遺憾なく整ひたり軈て定刻より約三十分遲れ午後一時半號砲として『氣を付け』の喇叭の音にて式は開始されたり先づ指揮官吉田中尉より人員並に器具の報告を受け次で警務部長國分大佐は府內各警察署長、警務部警視等を隨へ騎馬にて人員及び器具の巡檢を行ふ此の時急遽櫻井町二丁目に

▽出火ありとの 報に接し小管自動車は一時出動したるも間もなく歸場し夫より合圖の喇叭にて小熊主任警部指揮の下に常備隊以外の各消防組は場の中央にて操練を行ひ常備消防隊は蒸汽喞筒及び腕用機喞筒の操法を試みたるが精銳なる消火上の武器として壯觀の特長を遺憾なく發揮し水管馬車と水管自動車との操縱を行ひたる後各組の消防車輛の運動は常備隊を最終として

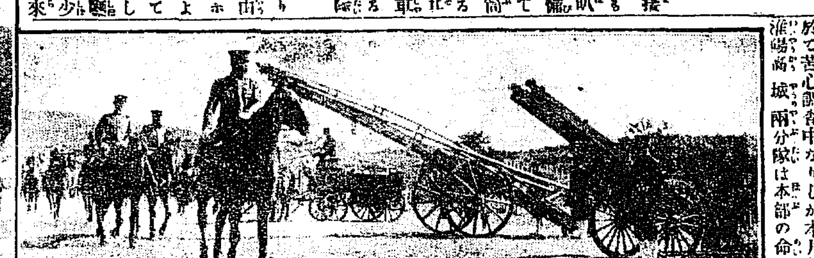
▽滯りなく演習 を終り夫れより呼物たる機械梯子を自由に操縱し發射喞筒より送りたるホースの水は地上四十餘尺の尖端より高く秋空に奔騰し白日に映じて五彩の霧となり美觀言ふ許りなし驟て移れば全員場の中央部に整列し國分警務部長より訓示あり終つて少時休憩の後餘興に移る餘興場は來賓席の後方に土俵を築き綱張りをなしあり火と水とに鍛練された消防手は是へ參集して徒歩競走を初め消防に因める

▽十餘種の競技 あり最後に消防全員合同の素人相撲の催しありて頗る盛況を呈して午後四時散會せり因みに當日は古海警務總長を始め警務總監部員、警務部及び府內各警察署員、道府廳員、在鄉軍人、消防義會贊助員、仁川、開城、永登浦よりの消防組員等の參觀あり好天氣のこととて場の周圍には內鮮人の參觀者山を築きたり此の日顯澤大佐は一首を詠む

天高く馬肥ゆたりし高麗の野に火守る人のわざならす哉



◆秋季消防演習の壯觀 （上）機械梯子の絕頂から放水する處（下）國分警務部長の點檢



金剛山中の大盜掘團

一齊包圍檢擧

金剛山中に於ける重水鉛の盜掘狀況に就ては從來管轄各憲兵隊署に於て苦心調査中なりしが本月初旬淮陽高城兩分隊は本部の命を受け各出張所員をも網羅して大擧出動し犯人の潛伏を旨として現場附近を包圍し犯人數名を逮捕すると共に巢窟を根據地より掃蕩し盡したり左に其の詳細を記さんに本月二日淮陽隊長仙波中尉は末輝里派遣所及び長安出張所員を率ゐて現場なる

▲毘盧峯附近 に出動し將所は遙か彼方の險峻なる岩石上の絕頂に登りて展望するに盜掘場は密林鬱蒼として巢等は此の半腹に出入し屢々岩石を投げ下すを以て危險名狀すべからざりしも一行は勇を鼓し遂に巢等を包圍し逃げ遲れたる盜掘者三名を逮捕せり又高城分隊にては本月中一回全員出動山中の大搜索を行ひたるも其後又復盜掘者の入込むもの多く今や其數約二百名と註せられ巢等は溫井里其他の要所に

▲多數の見張 を置きて常に憲兵の行動を探り日用品は長箭地方より多數の男女に運搬せしめ盜掘せる水鉛鑛は長箭高城方面に搬出せず杆城郡大津里附近より密に漁船に積込み元山に送るもの或は高城郡水洞面より楊口、麟蹄、華川郡を經て春川郡史北面より加平郡を經て京城に搬出しつゝあるものゝ如く過日杆城郡巨津港に於て某內地人が明太魚を積込み居るを取調べしに

▲樽の中より 水鉛二十斤現れたることあり而して今回大搜索の結果逮捕せる犯人等は孰れも幽溪の裡に小屋を造り中には溫突迄りなるもあり之れに要する木材は附近の松、檜等を伐採し炊爨の具器具等は遠き岩石の下抔に隱匿し置き容易に發見せられざる仕組となり居り常に官憲の手に逮捕せらるゝも差して苦痛を感ぜず滿期又は管刑を受けたる者は直ちに引返して

▲再び盜掘を 敢行する有樣にて今後斯れが犯罪を根絕の方針にて京城、通川、杆城、淮陽、麟蹄、春川の各隊署に京畿道に在りては加平郡其他の要路の各隊署に孰れも命を下し今後檢擧を一層嚴重にす

軍艦『明石』地中海を引揚ぐ

◇◆驅逐艦『榊』の戰死者を乘せて

廿二日橫須賀へ入港の豫定◆◇

二十日海軍省公表 本年二月以來佐藤（皐藏）少將司令官の旗艦として地中海に出動し共同作戰に從事しつゝありし二等巡洋艦明石（艦長三宅大太郞中佐二、八〇〇噸）は任地に於て他の一艦に其任務を引繼ぎ航中なるが二十二日午前橫須賀軍港に入港の豫定なり尙驅逐艦榊戰死者の遺骨及び遺物等も同艦にて來着の筈なり（東京特電）

姙婦の子殺し

精神に異狀を呈して

神戶小倉通一丁目岸本政三郞妻はる（三九）は姙娠後精神に異狀を生じ長男一を肉切庖丁にて慘殺せり（大阪特電）

破綻者續出せん

大阪に於ける綿絲商中井三三名の破綻者を出すべき模樣あり（大阪特電）

兇賊を逮捕す

平壤柳町鄭成淳（二〇）は申明恒、在賢、安基順、金日峰の四名と共謀して本年五月以降に平壤碑九里沈龍尺方大同郡龍山面大師洞里文得手方の兩戶にて家人を毆打脅迫の上衣類雜品數十點價格百三十一圓餘のものを强奪し其の後平壤驛町吳昌根方に忍び入り價格二十圓餘りの物品を窃取したるが平壤署に於て犯人嚴探中去る五日前記の片割なる鄭成學、金日峰の兩名が平壤市中を徘徊中を逮捕し嚴重取調べ中（平壤）

◆渡橋者五千人

當局の調査に依れば十月十七日午前六時より午後八時までの間に於て漢江橋を渡れる人員は總計五千百四十二人を算し諸種の運輸交通具の渡橋するものも亦尠からざりき、其詳細左の如し

	鷺梁津方面より	龍山方面より	合計
荷牛馬車	一四	一四	二八
人力車	三	二	五
自轉車	一八五	一九三	[illegible]
自動車	六	二	八
騎馬	六	一	七
軍人	六	一	七
學生	一〇	[illegible]	[illegible]
內地人男	[illegible]	[illegible]	[illegible]
同女	[illegible]	[illegible]	[illegible]
朝鮮人男	[illegible]	[illegible]	[illegible]
同女	[illegible]	[illegible]	[illegible]
支那人	[illegible]	[illegible]	[illegible]
荷車	[illegible]	[illegible]	[illegible]
荷牛	[illegible]	[illegible]	[illegible]
荷馬車	[illegible]	[illegible]	[illegible]
西洋人	二九	[illegible]	[illegible]

奉天の初氷

奉天にては十九日初氷を見たり昨年に比し一日平年より十三日遲れたり（奉天特電）

便利になる阿峴の墓地

京城府阿峴の墓地は之れ迄府當局で其の地番順にしか使用を許さなかつた結果仲々厄介で自分の希望する地番を使用する事が出來なかつた假令ば今十番地に墓所が欲しかつたとしても自分の希望地が十一、二、三、四の四個地番の墓地が他の人に由つて使用されるを待つて居なければならない樣な有樣であつたが府當局では其の大いに不便なるを認め今回墓地の各條各列毎の地番順に之が使用を許す方針を採り既に實行して居る

天長節奉祝 大提灯行列

來る三十一日午後六時

詳細は追て發表すべし

主催 京城日報社 毎日申報社

美術研究講習會

京城美術研究會にては二十一日午前九時より本町三越吳服店階上に於て例會を開き當日は小田幹治郞氏の講演ある由

休を何處へ

郊外へ！郊外へ！！

回秋は漸く深くなつた野にも山にも小春日の暖かい光が射して行き交ふ人の袂にさへ平和な秋の氣分が漂はれる時となつた、増して靜かな空の色、絢爛の綾な雲の影、折柄そよぐ金風に其の足取りもさぞ輕く、樂しい日曜の休息日を郊外に逍遊するなどは如何に床しい事であらう、半島の澄んだ秋光を賞づるのも此の日曜こそ、次の日曜が頂上であらう、では近郊の休みを何處へ行く？

□□秋の眺め は石坡亭でも言つてある通り實に秋の石坡亭は其の趣き翫すべきものがある北漢山邊りに草鞋がけで登つて見るのもよいが之れ迄行く事の出來ない人は北門を遶ぢて洗劍亭附近へ掛け石門を通じて彰義門へ逍遙するのも仲々趣きある企てであらう又東小門外から淸凉里殿、政府と遊び

□□漢江の畔 を汽車の窓から遠近の秋色を賞づるのも亦一興だら、極く近い所では南山に登り林の間、松葉分けつゝ、雜木の紅葉を探るのもよからう、國師堂から城壁傳ひ、亭々たる松の大樹は昨今紅葉の錦に時折そよぐ軟風に音も得立てず戰いで居る風情亦鑑賞の價値に充分である、又は道を獎忠壇に取り今度府がこしらへた

□□公園道路 松葉洩るゝ秋陽を身に浴びながら芝生縫ひつゝ漢江の岸邊往き來るさの帆舟の懸を眼下に望んで人道橋を西へ渡り自動車を飛ばして永登浦水原方面へ出掛けて見ても秋の山野は如何程歡迎するであらう少しく時間を費しても差支へない人は京元線三防の紅葉さては

□□釋王寺の 藥水溫泉、尋ねる所は枚擧に遑ない程ある、義州街道より碧蹄館に、ありし昔の面影を秋風とよぐもみぢ葉に尋ねて見るのも趣があらう其他□川の釣り、舟遊び、さては菊天狗の庭先きに菊の香りに醉ふのもよからう南山本願寺の菊の菊會例の通り

□□三越樓上 に開かるべき美術研究會に小田幹治郞氏の講演を聽くのも同好の人には興味深い事であらう……秋正に酣、黃金の風がポプラの梢にまでサラ〳〵と響いて來た、コスモスの亂れ咲く垣根の邊り赤い蜻蛉が飛んで行く

昌慶苑の洋樂

二十一日午後一時より四時まで昌慶苑（李王職博物館動物園）に於ける洋樂演奏曲目左の如し

コロンボ行進曲（樂隊）▲梅暖（和びの國）序曲（ポエト）▲ワルツ曲（ブレンスイノ野營）▲歌劇（アンゴー夫人）▲序曲（ヘルミオン）▲カテリ曲 [illegible]

助産婦看護婦卒業式

總督府醫院にては二十二日午後三時より京城醫學專門學校講堂に於て同院第七回助産婦科並に第九回看護婦科生徒卒業證書授與式を擧行すべし

法華宗前管長巡錫

法華宗前管長大僧正野原日隨師は朝鮮地方巡錫の途次京城に立寄り竹添町二丁目同宗本門佛立講京城布敎所にて說法を試むる由日取は多分廿三日釜山廿五日京城とかるべし

開敎院の十夜法要

本町三丁目淨土宗開敎院にては廿一日より廿五日迄十夜法要を營むべく毎日（晝夜二回）吉村立壽、大町善瑞兩師以下諸敎師の說敎ある筈尙廿一日は午前九時より日曜學校ありと

篠崎主催野球大會

京城本町篠崎運動具店にては來る廿八日同店主催にて野球大會を開催すべく目下熱烈に練習しつゝあり尙參加希望は同店に申込むべしと

小說休載

小說『櫻御殿』は二十日原稿未著に付已むなく休載す

…[illegible]…長出張●東拓大邱出張所●[illegible]諫氏は金泉尙州醴泉安東義城方面に於ける移民狀況視察の爲め十八[illegible]

…[illegible]報の如くなるが其の賃金は三等片道四十四錢二等同六十六錢（一哩三錢の割）にて毎日三回宛往復すべしと▲前原技師●[illegible]郞 過般來[illegible]

…[illegible]任[illegible]原警部を行政主任に補し[illegible]任吉井警部をして司法主任となせり▲星州醫[illegible]●團來郞●[illegible]約二十名の大邱[illegible]一行は十八[illegible]

…[illegible]（二三）土城町二丁目[illegible]六名を捕縛し目下取調べ中（釜山）[illegible]大日本國民中學會の[illegible]

子宮病血の道と

彼是と迷ふ無く

最も能く効く良藥神痾湯を試よ現に百方手を盡くも効なき難症の血の道や、多年不治のヒステリーや、年々難治の子宮病を始め困族の病氣、リウマチス神經痛の方々が神痾湯の連服で漸次快方に赴き遂にはスツカリ快癒し實に除り態苦し狀（へ）在保存一般の閲覽に供すを送るの例かも數からず若し不幸にも是等の病に惱む人あらば輕症と雖も症の論なく卽刻試みよ神痾湯は家方の良藥にして今や全國各藥店にあり

神痾湯

本劑は せんきリウマチス神經痛と子宮血の道ヒステリー及慢性胃腸病に能く効を奏す

リウマチスに惱む人は

◎こんな徵候 胸、頸、手、足、腰、膝、腎丸等つり痛し又は痺れ又は動し痛●彼處此處と移動し●何となく怠く●頭痛●目眩●肩こり●胸つかへ●溜飮●食進まず又は進過●寒熱●便秘又は下痢●眩暈●耳鳴●頭痛●肩凝●齒痛●頭重く●腹に力なく●夜眠られず●足冷えに●根氣薄らぎ●しく物事に感じ易く●口渴き手足の痛み●子宮病血の道冷え病痛氣●リウマチス神經痛●起る徵候に惱む人は片時も早く神痾湯を試みよ

定價 [illegible]

名古屋市東區京町二丁目 本舖 荒川長太郞 電話 [illegible] 振替口座 東京一四二三番 大阪二九[illegible]番

注射液 ワクシン

軟性下疳菌ワクシン（下疳橫痃用）

アクネ菌（葡萄狀球菌混合）ワクシン（ニキビ治療用）

肺炎球菌ワクシン（肺炎治療用）

インフルエンザ菌ワクシン

百日咳菌、肺炎球菌、混合ワクシン

感冒用（肺炎球菌、インフルエンザ菌、假性實布埃利亞菌、葡萄狀球菌連鎖球菌混合ワクシン）

麻菌ワクシン（痳病治療用）

結核菌ワクシン

葡萄狀球菌連鎖狀球菌混合ワクシン（結核の混合感染及化膿性疾患治療用）

其他合計二十餘種英國ライト博士の下に研究せる阪上ドクトル擔任製出

東京南傳馬町 京橋 星製藥株式會社細菌部 電話京橋 一七八〇 振替東京 二〇五二

貯蓄預金 元金百圓ニ付日步壹錢三厘 金壹錢以上何程ニテモ御預申候

株式會社長崎貯蓄銀行代理店

株式會社十八銀行京城支店 京城黃金町 電話 四二〇番 五八〇番 振替貯金口座 京城八〇四番

同 龍山出張所 龍山元町二丁目 電話一八番

諸預金貸付爲替其他一般ノ業務ハ精々御便利ニ取扱可申候

中央婦人病院 京城明治町二ノ目（一ノ漢城病院下横通） 電話二二四二番 院長 衣笠[illegible]

鑛物分析及標品發賣 定價表呈 標品中箱七圓乙箱四圓 送料三十六錢箱入 ●太平町二丁目三六（遠藤醬油店向側入る）電話二八三三番 松永分析所

皮革 精米研磨革 綴革 動力帶革 靴原料 青象本底

釜山大廳町一丁目 三星商會 電話長七八〇番

▼精米研磨革及青象本底は他に比なき最良品なり▲

瀨戶外科皮膚科醫院 京城旭町二丁目（舊三丁目） 電話二四九八番 （診察夜九時迄） 醫學士 瀨戶潔

各種萬年筆卽時修繕 京城旭町二ノ六 電三〇七七 東京パイン萬年筆出張所

營業品目

肥料部 蒸製骨粉、乾魚、蹄角粉、星印配合肥料、細工用鹿角各種獸骨及原料

▲石鹼部 化粧用石鹼、工業用、家庭用石鹼、浮石鹼、粉末石鹼、牛脂、椰子油、鯨油、其他油脂類、苛性曹達、洗曹達

朝鮮肥料製造所 京城東大門外[illegible] 電話一六三五番

朝日石鹼製造所 京城岡崎町一四番地 電話二五六四番 振替口座京城二〇〇四番

◉娘◉花嫁◉主婦 ＝女一代の衛生＝

△娘時代の衛生▽

女の一生には衛生上最も大切な時期が三つ有ます。第一は女の一人前になつて之から嫁入うとする娘時代。次には結婚後の一二年、即ち花嫁時代。第三には主婦に成てソロ／＼中年期に入うとする頃。之が婦人の三大變換期と稱して其一生中一番油斷のならぬ時です。何故かと申せば此三時期には身體の組織に變化を來すから自然病氣に罹り易くなるのです。其中でも最も多いのは一口に婦人病と稱する子宮疾患であります。そこで先娘時代の事から申せば時々月經が不順になつたり經頭痛がしたり氣が鬱だり月經以外の分泌物（こしけ）があつたりする。こんなのは既に子宮病の先驅で之を治さずに結婚でもすると直重い子宮内膜炎になります。それに嫁入前の娘時代は女の一生中最も大切の時ですから若少でも前記の如き異狀が有たら本邦最優の婦人藥と諸博士の證明せらるゝ『命の母』を服用して大事を未然に防るゝ注意が肝要です

△結婚後の衛生▽

さて結婚後の一二年間此花嫁時代が一番子宮病に犯され易く結婚當時の婦人は十中七八まで之に罹ります、以前は何ともなかつたのが嫁入してから間も無月經が狂ひ出す頭痛や眩暈がする逆上る白帶下があつて下腹や腰の邊が引吊る樣に痛むなど云のは確に子宮内膜炎に罹た證據です之を手當もせずに抛つておくと病勢は次第に進んで自分で苦しい思ひをするばかりでは濟ず。幾年經ても子供が出來ず、それが爲家庭は淋しく一生不幸に泣かねばならぬ事になりますから前申す容態の婦人病者は一刻も早く『命の母』を服用して健康を恢復せられん事をお勸めします。

△中年婦人の衛生▽

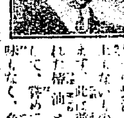
三十歳から四十歳此働き盛の主婦時代にも子宮病者が隨分多いものです。容態は矢張り前記の如きもので治療も亦異る所はありません。又四十歳を越と婦人はよくヒステリーに罹り易くなるものですが其原因は主として子宮疾患からです其容態は頭痛、眩暈、逆上、下腹の引吊等身體各部の調子が狂ふのみならず心持が以前とガラリと變つて氣の浮き沈みが烈しくツマラぬ事が心配になつて泣たり笑たりする。平生好な物が嫌になつたり嫌な物が好になつたりする。そして疑ひ深く邪推深く迷信が深くなる。甚しいのは全く無い物が見たり音のせぬのが聞えたりするが之を關はずにおくと遂には眞の精神病者になりますから大に戒戒して一日も早く『命の母』を服用する事が肝要です。尙婦人病者は服藥の外何に拘らず專門大醫の診察を受けた『婦人病者の心得』と云ふ女一代の衛生書を一讀する必要があります。御入用の方は左へ御申れにても『ハガキ』にて東京市京橋區新榮町四ノ一篠崎省三、大阪市北區木庄中野町四五七篠崎省一方へ御申込次第無代進呈します。

垢ぬけの話

洋行歸りの人の畫は垢拔けせり 垢ぬけは地方でも立派に出來る

尾上梅幸談

何事にも垢ぬけのしましたのは氣持の宜しいもので西洋畫家などでも一度洋行して西洋で修行なすつていらしつた方は畫が何處となく垢拔がして氣持がよくなると云ふことを聞いて居ります、一體垢拔と云ひますことは垢がとれる清潔になると云ふことが始めなので此から段々着物の着こなしから一般の趣味のことまでなつて、どてしないでむさくなく何處となくすつと清らかに締まつてをりますを云ふやうになつて居ります併し一番よく用ゐられますのはあの人は垢ぬけのしない人だとかよく垢ぬけのした顏とか云ふことで化粧に渡つたことでございます、よく人の集まります處では耳のうしろが薄黑かつたり襟あしの垢つぽく薄汚れしたのが目立ちますものですが此なぞが垢拔しない例でございます。此が注意によりまして何處もかもすつきりと清らかになりますと何處となく垢拔かして見ゐることになりますのでございます。よく水道の水を使ひますと垢拔がすると申しますが之は格別水道の水に垢拔のします成分が入つて居る譯ではなく田舍から都會へ出ますと周圍の人が清らかに見ゐますから何か自分の身の周圍を振返る樣になつて着物の着こなしも直して行く今まで三日に一度入浴したものが日に一度入浴する樣になると云ふ風に丁寧に洗ふ樣になることで自然垢拔のして行くことでございませうから此は何も水道の水に限つた譯ではなく隨分地方に居りましてもお心がけ一つで垢拔がして行けることゝ存じます、水道の水のない處でしたらば軟水と申しまして石灰分のない石鹼のよく溶ける水ならば結構でございます又軟水でなかつたなら一度煮たゝせますと皮膚を荒す樣なことはなくなりますから之の水を用ゐまして洗料には皮膚の營養を助ける入浴を怠らない樣にしますと自然と垢拔かして來る譯でございます、家庭の浴槽でしたら此中へミツワ花の雪（オードトアール）を猪口に一杯程滴し錢湯ならば桶にとりました上り湯の中へ此のミツワ花の雪を滴して用ゐますといゝ芳香が立ますから心持よく入浴が出來ます此いゝ芳香のする湯で濡れた皮膚へミツワ石鹼を掌で溶いた樣に白い泡沫にしまして顏部に塗りますと汚垢は此の石鹼の作用で吸はれるやうになりますから此をお湯で流しますと泡沫は汚垢ぐるみするりと落ちて皮膚は清潔になります、洗ひます際に耳のうしろ襟あし額の下指さきなど、目だたずに輕んじられ易い處は特に念入りにお洗ひになる樣におすゝめいたします、湯上りには必ず清潔になりました顏や手足へミツワ健膚藥を擦り込む樣に塗りまして吸收されない餘分を拭手拭で抑へる樣にして除りますと此からの秋にも皮膚の荒を知らずに垢ぬけがして見ゐる樣になつて參ります。



△尾上菊五郎曰く 御婦人方のお髮の手入にミツワ椿油の欠く可からざるものであることは申し上げるまでもございませんが男子の髮油としても上等なものでございます、此は普通ありふれた椿油とは違ひまして、舐めて見ても苦味もなく、色に赤味はなく、臭氣はせず髮に用ゐますと、製毛はなく、頭垢は出來ず艷が出て美しくなります。ですから男子の方にも欠く可からざるものでございます。

△發賣品目錄進呈 東京橋町 丸見屋商店▽

ゴルフの

キキメを疑ふ人ありや？ モシありとせば先づ此禮狀を一讀せよ！

ゴルフはナゼコンナによくきくか

ゴルフは最も完備したる工場に於て優秀なる技術と多年の經驗とを有する博士學士が有名なる消化劑タカヂアスターゼを主藥とし之に胃腸病其他營養不良の人に效能顯著なる二其の最新醫藥を調合して調製せしものにして多數の胃腸病患者及び營養不良の人、根氣なき人に實驗し效能確實なりと認めて發賣せしものなれば一時凌ぎの賣藥と異り一度服用せば其効能偉大なるに驚く

主治 胃腸病一切、過飲過食、水あたり、食あたり、營養不良、身體虛弱

效能 ゴルフは一度に澤山服用しても差支なき美味の健胃劑であります

定價 二十錢 一圓四十錢 各地藥店にあり

此禮狀は神戸市尻池智原通一の一五二山根一夫氏よりの來信を其儘掲出せしもの也 この他禮狀澤山來て居ります

東京日本橋區室町三丁目 泰昌製藥株式會社 振替口座東京二七五七七

昔 今

效能 逆上を引下げ便通をよくし梅毒其他諸毒を下す

效能で賣れる 七ふく ひえくすり

大日本大阪高津 電話南七二九 振替大阪七三

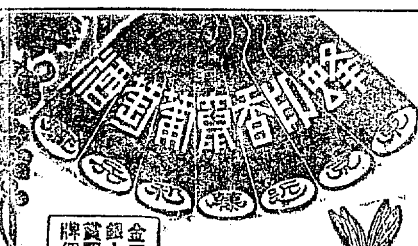
本家七ふくや伊藤長兵衞

大日本優等清酒 ハクツル

品質純良 衛生無害

醸造元 攝津灘御影町 嘉納合名會社

發賣元 京城本町二丁目廿番地 前田酒店 電話一三七 振替口座四二五



金牌二十個 賞牌四個

健康となる金科玉條は 美味滋養 蜂印香竄葡萄酒を毎食前飲用するにあり さすれば血を增し肉を肥し知らず識らず健康體となる

▼蜂印香竄葡萄酒は優良生葡萄酒を原料とし滋養強壯の藥品を主成分として精製せる飲料品なり

物價暴騰の昨今 須らく價格と實質とを御比較遊ばせよ

保温耐久 木綿足袋の三倍以上

強くて温かい 日本一の オニタビ

各地販賣店にて御求御愛用を乞ふ

特約御希望の方は御申越次第「營業案内」進呈可申上候

東京市 [illegible] 淳平商店

淋疾內用 ブレノリン

ドクトル松久(?)一郎先生の創案により製出したる本品は迅に體內に吸收分解せられて尿に強烈なる殺菌防腐性を與へ尿量增加の作用あり、而して胃腸障害其他の副作用なきを特色とす。

急性 慢性 淋疾 消渴、膀胱、尿道加答兒等に賞用せらる。

宇野博士、緒方博士、櫻根博士は本品に對する治驗報告を寄せられたり。文獻贈呈す。

粉末錠劑の二種あり 各地有名藥舖にあり

東京室町 三共株式會社

當銀行ハ預金、貸附、爲替等一般銀行業務ヲ確實親切ニ取扱申候

京城 朝鮮銀行

電話 [illegible] 振替貯金口座京城三三一

支店 東京、大阪、神戸、下關、仁川、元山、大邱、釜山、鎭南浦、群山、木浦、馬山、新義州、會寧、平壤、安東縣、奉天、大連、長春、開原、四平街、吉林、哈爾賓、營口、傅家甸、龍井村

出張所 右ノ外内外主要ノ地ニ爲替取引先有之候

銚子港 田中玄蕃釀造 ヒゲタ醬油

代理店 京城明治町一丁目 發賣元 櫻正宗 山邑京城支店 電話八四九番 振替貯金京城七五番

金泉自動車著發時刻 居昌自動車部 金泉支部 ▲小荷物運搬仕候 金泉電話四八番

[illegible]

日本郵船仁川出帆

○大連行、太沽(天津)牛莊行 相模丸 十月三十日 高砂丸 十一月九日 三河丸 十月廿三日 正午出

仁川海岸町十一ノ二 堀回漕部

尼崎汽船仁川出帆

○群山、木浦、釜山、下關、神戸、大阪行 大有丸 十月廿一日後四時出 神代丸 十月廿二日後四時出 君が代丸 十月廿三日後四時出

仁川海岸通五丁目 高杉回漕部

阿波共同汽船仁川出帆

○芝罘、大連行 第廿共同丸 十月 日午後入港 十月 日後十時出

朝鮮鐵道並に滿鐵線各驛にて荷客連絡取扱仕候

阿波共同汽船株式會社 本町四丁目(電話一七三番)

仁川代理店 野口商會 元山代理店 田口回漕部 京城取次店 河村運送店

大阪商船仁川出帆

◉神戸、大阪行 ×滄州丸 十月 日 ×溪州丸 十月 日 後二時出

◉南浦、神戸、大阪行 △油頭丸 十月廿五日後二時出 ×信ノ川丸 十月 日後二時出

◉木浦、釜山、嚴原、鄕の浦、長崎行 ×安東丸 十月廿九日後二時出 ×安東丸 十一月十六日後二時出

○南浦行 △油頭丸 十月 日 ×滄州丸 十月 日後二時出

◉鎭南浦、大連行 ×安東丸 十月廿四日後二時出 ×安東丸 十一月十一日

◉西湖津、新浦、城津、淸津行(元山出) 宮島丸 十月廿七日後十二時出

◉淸津行(元山出帆) 安平丸 十一月八日後十二時出

◉上海、基隆、打狗行(大連出帆) 湖北丸 十月 日後四時出 基隆丸 十月三十日前六時出

御注意 [illegible]

切符發賣所 大阪商船會社仁川支店 電話二二〇番

切符發賣所 内國通運會社京城支店 電話七〇八番

切符發賣所 仁川京城 開豐號 電話二六一番

釜山出帆廣告

汽船 門司、神戸、大阪行 和歌浦丸 十月三十日後五時出 立神丸 十月 日後五時出

元山、清津、浦鹽行 立神丸 十月 日後十時出 和歌浦丸 十月廿九日後四時出

元山、西湖、新浦、城津、淸津行 第三琴平丸 月 日後六時出

門司、宇品、神戸、大阪行 第三琴平丸 月 日後六時出

佐須奈、嚴原、壹岐、博多行 天草丸 毎月二日九日十四日廿一日廿六日午後十時出帆

釜山港埋立新町 本船取扱店 大池回漕部

朝鮮郵船仁川出帆

◎關門より釜山各地經由雄基行 平壤丸 十月廿五日 京畿丸 十月三十日 成鏡丸 十一月四日 忠淸丸 十一月 日 釜山發

○元山より各地經由雄基行 平壤丸 十月廿六日 穩城丸 十月廿一日 平壤丸 十月廿八日 元山發

○浦潮行(元山より城津淸津經由) 平安丸 十月廿一日 元山發

○元山長箭間 穩城丸 鏡城丸 成鏡丸 十月廿五日 十月廿九日 十月 日 元山發

○釜山元山間(一時休航)

○鬱陵島行浦項及各地經由 寧德丸 十月廿一日 釜山發

○浦項行(長生浦方魚津甘浦九龍浦經由) 江陵丸 襄陽丸 毎日 釜山發

○濟州島行長承浦麗水巨文島經由 慶尙丸 十月廿五日 釜山發

○麗水行(各地經由) 統營丸 巨濟丸 毎日 釜山發

○木浦麗水間(麗水にて釜山行接續) 順天丸 三日目毎に 木浦發

○木浦より濟州島行各島經由 公州丸 十月廿三日 慶興丸 十月廿七日 木浦發

○多島海各島行 慶興丸 十月廿三日 木浦發

○木浦行(群山其他各地經由) 濟州丸 十月廿七日 十月廿二日 仁川發

○鎭南浦行(海州其他各地經由) 金海丸 十月廿三日 仁川發

○海州行(江華島各島經由) 全州丸 錦江丸 毎日 仁川發

○青島行(芝罘、大連經由) 江原丸 十月廿九日 仁川發

本社 京城南大門 支店 [illegible] 京城南大門通 松原運送店

▲二十日後場 仁川期米 [illegible]

▲又復伸悩む [illegible]

▲俄然沸騰す [illegible]

▲仁川現物界 [illegible]